

令和6年度

事業報告書

令和6年4月 1日から
令和7年3月31日まで

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟

【目次】

I. ソフトテニスの普及振興事業

1 大会開催および運営に関する事項	1
2 地域大会の支援	1
3 加盟団体への支援	1～2
4 広報活動の推進	2
5 各種資格等の制度推進と認定	2～3
6 各種表彰、顕彰事業の実施	3
7 用具・用品・施設の公認	3
8 傷害補償制度	3
9 競技人口の増加対策	3
10 医科学研究事業の推進	3～4
11 アンチ・ドーピング活動の推進	4
12 テニスパーク棚倉の活用	4
13 全国会議・研修会の開催	4

II. ソフトテニスの競技力向上事業

1 競技力向上事業の推進	4～5
2 ソフトテニスの指導者育成	5
3 全国的な指導者研修会の実施	5

III. ソフトテニスの国際振興事業

ソフトテニスの国際振興事業	5
---------------	---

[各事業を推進するための組織と財政の強化、共通施策]

1 青少年の健全育成および環境教育の取り組み	5～6
2 暴力根絶の徹底	6
3 体制の強化	6
4 会員登録制度の推進	6
5 財務計画の策定と財源確保	6
6 中期基本計画の推進、ならびに長期基本計画(未来構想)に基づく事業の検討と推進	6～7

(庶務事項)

1 会議等の開催に関する事項	7
2 会員登録に関する事項	7
3 分担金に関する事項	7
4 補助金・助成金等に関する事項	7
5 協賛金・寄付金に関する事項	7
6 傷害補償制度の給付金に関する事項	7

別表 1～36	8～25
---------	------

ソフトテニスの普及振興を図り、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的として、「ソフトテニスの普及振興事業」「ソフトテニスの競技力向上事業」「ソフトテニスの国際振興事業」の3つの柱に加え、「組織・財政基盤の強化」を推進し、定款に定められた事業を推進した。連盟創立100周年を迎えるにあたり、記念事業の検討を行い令和7年度において実施することとした。また、ソフトテニスの次の100年に向けて、Mission・Vision・Value(MVV)の策定に着手し、令和7年度に実施の記念式典において発表することとした。

I. ソフトテニスの普及振興事業

1. 大会の開催および運営

- (1) 国内競技会を大会実施要項に基づき実施した。〈別表1〉
- (2) 全日本選手権大会の開催地の固定化実施に向け、継続して調整していく。大会運営については、令和7年度から日本連盟が中心となり実行委員会を編成して対応していく。
- (3) 大会運営体制について費用対効果を考察し、派遣役員の調整を行った。
- (4) ST リーグ、全日本選手権大会、ミックスダブルス選手権大会、およびスポーツマスターズ大会、国スポ大会のアピール方法、運営方法について広報委員会・審判委員会と協力し、引き続き検討していくこととした。
- (5) 令和7年度全日本小学生大会においてベンチコーチを許可することとした。令和7年度はまだ8月開催の為、熱中症対策の観点からも必要と判断した。

2. 地域大会の支援

地域等における競技会開催の支援として補助金を交付した。〈別表2〉

全日本小学生選手権大会の参加選手旅費補助を定額補助に変更した。また、この補助については令和7年度をもって終了とする。

3. 加盟団体への支援

- (1) 地域クラブ、ジュニアクラブ等へ育成および運営支援のための会員登録料還元率の見直しは、令和7年度会員登録料の値上げにより継続検討する。令和6年度は会員登録料より、一般 20%、大学 20%、高校生 10%、高専 10%、中学生 20%、小学生 50%の率で助成とした。
- (2) 各加盟団体事業を推進するための補助金制度について継続実施した。
 - ・支部小学生大会への補助(一支部 30,000 円)
 - ・中学生大会への補助(一支部 30,000 円)
 - ・ソフトテニス愛好者増加対策事業への補助の実施
 - ・地域のソフトテニス振興と競技力向上への支援のため、ナショナルチーム選手を派遣した。〈別表3〉
- (3) 運動部活動の地域移行の推進

令和5年度より開始されている中学校運動部活動の地域移行の「改革推進期間」は2年目を迎えているが、各地方公共団体の取り組みについては格差が生じている。そのため、地域クラブ活動の設置を推進するため、昨年度からの重点課題である「指導者の

質と量の確保方策」に加え以下の事業を実施した。

- ①地域クラブ設置推進事業
- ②指導者確保・資質向上事業(JSPO スタートコーチ・2級審判員資格取得)
- ③レクリエーション志向大会事業
- ④休日活動支援事業

①については山梨県、②の JSPO スタートコーチ取得を目的とした事業については岐阜県と秋田県、②の 2 級審判資格取得を目的とした事業については新潟県、茨城県、香川県の 7 団体から申請があり助成金を交付した。

(4) 運動部活動の地域移行への具体的な取組

令和 6 年 11 月 16 日(土)・17 日(日)に、生涯スポーツ委員会との共同事業として大阪アカデミアにおいて、「中学校運動部活動の地域移行に関する意見交換会兼中学生指導者研修会」を開催した。全体会では、各地域の状況について情報交換が行われ、分科会では令和 5 年度に度策定した「MVV」をもとに、具体的な行動計画についての議論が行われた。また、令和 7 年 9 月に国内の地域クラブ活動を対象とした NF 主催大会(プレ大会)の実施が決定した。

4. 広報活動の推進

- (1) 天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会の NHK 放映と当連盟公式 YouTube チャンネルを活用しライブ配信を実施した。＜同時接続数: 18,000 名＞また、その他主催大会においてもライブ配信やアーカイブ配信を行った。
- (2) 日本連盟公式 Twitter、Instagram の SNS を活用し大会情報等の即時性のある情報発信を実施した。
- (3) 機関誌を電子版(PDF)でホームページに掲載し、誰もが活動内容を知ることができるようになった。

5. 各種資格等の制度推進と認定

- (1) 技術等級・審判員制度および指導等級制度、に基づいた資格認定を行った。〈別表 4〉〈別表 5〉
- (2) 大会参加の資格要件として技術等級資格が定められていない大会においても、資格取得が望ましいとして要項記載を推進し、技術等級の有資格者の増加を図った。
- (3) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度有資格者の増加を図るために、養成講習会を実施した。
 - ①コーチ1養成講習会の開催は下記のとおり。
北海道、岩手県、秋田県、福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、富山県、愛知県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、熊本県、大分県
 - ②スタートコーチ養成講習会の開催は下記のとおり。
秋田県、岐阜県
- (4) 審判および技術等級の認定料について見直しを検討した。
- (5) 1 級審判員の養成のため、検定会(新規取得)・研修会(資格更新)を行った。〈別表 6〉

(6) ソフトテニスハンドブック、採点票等を販売した。〈別表 7〉

6. 各種表彰、顕彰事業の実施

(1) 規程に基づき大会入賞者を表彰した。

(2) 本部功労および各支部から推薦の功労者・優良団体の表彰を行った〈別冊：表彰者名簿〉。

- ① 本部功労者 2 名
- ② 支部功労者 91 名
- ③ 優良団体 40 団体

7. 用具・用品・施設の公認

愛好者・競技者が安全で快適にプレーができるよう、適切な用具・用品・施設の使用を推進した。

(1) ラケットの公認

公認事業者より申請されたラケット 6 機種を公認した。

(2) 公認事業者の更新

令和 6 年度公認事業者一覧は〈別表 8〉のとおり。

(3) ラケットの証紙、ネットの証布を発行した。〈別表 9〉

8. 傷害補償制度の推進

受傷者からの申請に基づき、給付金の交付を行った。〈別表 30〉

要領の表現や書式の見直しについて、次年度において検討していくこととした。

9. 競技人口増加対策の検討

競技人口増加について「登録人口問題対策委員会」を新設し、課題の整理と対策について取り組むこととした。

10. 医科学研究事業の推進

(1) 大会会場においてトレーナーブースを開設し、参加選手の身体ケアとコンディショニングに取り組んだ。実施大会は下記のとおり。

第 17 回世界選手権日本代表予選会(宮城県:4/27-28)

第 31 回全日本シングルス選手権大会(福島県:5/18-19)

大会のオフィシャルトレーナーとして、試合中タイム取得時の傷害対応、参加選手へのテーピング対応等を行った。実施大会は下記のとおり。

第 5 回全日本ミックスダブルス選手権大会(奈良県:6/15-16)

全日本実業団選手権(滋賀県:7/26-28)

第 31 回ジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア選手権大会(広島県:10/5-6)

第 28 回全日本シニア選手権大会(茨城県:10/12-13)

第 79 回全日本ソフトテニス選手権大会(東京都:11/8-10)

第 70 回全日本インドア選手権大会(大阪府:2/2)

(2) 第 7 回トレーナー研修会を横浜市医科学センターで開催した。(神奈川県:2/22)

- (3) トータルスポーツクリニック事業での測定・分析を実施した。(東京都:2/18-19)
- (4) 医科学報告書を作成した。
- (5) 公認スポーツ指導者養成講習会へ講師を派遣した。

11. アンチ・ドーピング活動の推進

アンチ・ドーピングに関する以下の教育・啓発活動を行った。

- (1) ドーピング検査 N F-rep 派遣: 第 79 回全日本選手権大会(東京都:11/10)
- (2) 講義活動: 各カテゴリー、ナショナルチーム合宿
- (3) アウトリーチ活動:
 - ① 男子第 69 回女子第 68 回全日本実業団選手権大会(滋賀県 7/27~28)
 - ② 第 79 回全日本ソフトテニス選手権大会(東京都 11/9~10)
- (4) 大会要項、機関誌「Soft Tennis」、ホームページ、指導者教本に関連情報の掲載を行った。
- (5) 国際連盟からの TP(登録検査対象者リスト)選手指定に対しての登録作業のサポートを行った。
- (6) 日本代表選手に対しての大会派遣前に服薬チェックを行った。

12. テニスパーク棚倉の活用

運営本部にて今後の活用について検討した。令和 7 年度への継続審議とした。

13. 全国会議・研修会の開催

コンプライアンス研修を目的とした加盟団体代表者による研修会開催について、令和 7 年度開催に向けて継続審議することとした。

Ⅱ. ソフトテニスの競技力向上事業

国際競技大会でNo.1となるために強化事業を実施した。あわせて、将来の日本を代表する選手の発掘育成のための競技者育成プログラムの推進、選手育成に不可欠な指導者育成に関する事業を推進した。

1. 競技力向上事業の推進

- (1) 競技者育成プログラムの推進<別表10>
 - ・競技者育成プログラム Step-3 中止時の推薦選手選出方法について協議を行った。
 - ・猛暑・酷暑の中で実施する Step-3 のプログラム等について検討を行った。
 - ・Step-4 は、U-21 を除く U-14・U-17 で選考会を実施した。
 - ・競技者育成プログラム Step-4参加者の受益者負担軽減に向けてとジュニアジャパンカップ大会の開催方法等について検討を開始した。
- (2) 日本代表、ナショナルチーム、アンダーチームの強化合宿を実施した。〈別表11〉
- (3) テニスパーク棚倉を競技力向上事業に活用した(アンダー14合宿)

- (4) 国際大会等、海外への選手等の派遣を実施した。〈別表 12〉
- (5) 強化スタッフの大会視察派遣〈別表 13〉
- (6) アンチ・ドーピング教育の推進
- (7) 情報収集および分析結果の活用
- (8) 医科学研究の活用
- (9) ナショナルチーム、全日本アンダーチームにコンプライアンス教育を行いトップアスリートとしての人間力向上をサポートした。

2. ソフトテニスの指導者育成

指導者の資質と指導力の向上を図り、指導者の活動促進と指導体制の確立を図る事を目的に、次の事業を行った。

- (1) 積極的に指導者養成講習会(24 会場)を行い、公認スポーツ指導者の拡大を図った。
- (2) 運動部活動地域移行推進委員会と連携し、運動部活動の地域移行に伴うソフトテニスの普及と指導者の活用について検討を行った。
- (3) 日本ソフトテニス連盟に開設した「JSPO 指導者マッチングサイト」を活用して、希望に沿える指導者を紹介出来るシステムの推進を図った。
- (4) 指導教本を最新の内容に改訂し、令和7年4月から(新)指導教本を発刊できるよう対応した。

3. 全国的な指導者研修会の実施

令和5年度に引き続き中学校の運動部活動の地域移行をテーマとして研修会を開催した。

Ⅲ. ソフトテニスの国際振興事業

- (1) アジアソフトテニス連盟(ASTF)内での日本ソフトテニス連盟からの役員ポジション確保を行い、国際戦略を検討するとともに、国際普及活動への関与を深めた。
- (2) 愛知・名古屋競技大会の種目実施方法を検討し、提案した。ランキング制度の導入を検討し、提案する予定である。
- (3) 第 17 回世界ソフトテニス選手権大会(韓国・安城)、第 4 回世界ジュニアソフトテニス選手権大会(中国・京山市)へ選手団および役員の派遣を行った。愛知・名古屋アジア競技大会の参加国を増やすとともに、終了後もいっそう拡大すべく、効果的なターゲット選定と情報収集を行った。昨年度に国際普及用の動画を制作したので、今後活用していく。
- (4) オリンピック参入の前提条件となる ARISF(IOC 承認国際競技連盟連合)への参加について、調査を行った。スポーツ界の動きを確認しながら、引き続き調査を継続する。

〔各事業を推進するための組織と財政の強化、共通施策〕

各事業を推進するためには、組織と財政基盤の強化、組織の健全運営が必要となる。共通施策として、次の事業を実施する。

1. 青少年の健全育成および環境への取組

- (1) 日本連盟主催大会(全国小学生大会等)での現場巡回にて、フェアプレーとマナーに

について参加者への意識向上を図ることが出来た。

(2) 環境への取組

日本連盟主催の各大会において、横断幕の掲揚・大会プログラムへの掲載を確認した。スポーツパーソンシップに則ったフェアプレイ・マナーについてアスリートおよびアントラージュへの意識向上を図ることができた。

(3) 日本連盟 HP 掲載の「ソフトテニスマナーBOOK」を各研修会・審判講習会等において活用することができた。また、大会プログラムへの「マナーブック抜粋版」掲載によって、一般・シニアはもちろん、小学生・中学生・高校生・大学生プレーヤーとその保護者にも周知できるよう努めた。

(4) 大会プログラムへの JOC 環境ポスターの継続掲載を推進した。

2. 暴力根絶の徹底

(1) JOCのNF総合支援センターが主催するコンプライアンス研修会を利用し、日本連盟の役職員に対するコンプライアンス研修を実施した。

(2) 「倫理規程」、「倫理・コンプライアンス委員会規程」を改正・制定するとともに、新たに「内部通報規程」、「懲戒手続規程」を制定し、ガバナンスコードに対応するとともに、暴力、暴言、ハラスメント等の不適切行為を根絶する体制を整えた。なお、各規程については、令和6年度は周知期間とし、令和7年度から施行することとした。

(3) 暴力の根絶徹底のため、通報窓口と指導基本規程違反の処理機関として、各支部に設置した違反救済申立処理委員会、日本連盟に設置した違反救済審査委員会を通して相談を受け入れ、指導基本規程に従った対応を行った。

3. 体制の強化

(1) ガバナンスコードを遵守すべく役員体制の構成を改善した。

(2) 日本スポーツ振興センターの組織基盤強化助成を得て倫理・コンプライアンス関係の規程を整備し、内部通報制度を整備した。また、ガバナンスおよびコンプライアンスの強化の基盤となる Mission・Vision・Value (MVV) を策定する作業に入った。

(3) 組織基盤強化のため、代表理事、専務理事、常務理事のほか、理事および主となる委員長による運営本部会議を2週間に1度開催し、組織を俯瞰的に捉えて民主的な議論によって組織運営を行った。そして効率的な組織運営を目指し、専門委員会・部会の見直しを行った。

4. 会員登録制度の推進

会員登録システムの変更を検討し、令和7年度より新システムを導入することとした。より利用しやすいシステムを提供し、登録作業負担の軽減を図り、会員登録数の増加を図ることとした。

5. 財務計画の策定と財源確保

財務委員会において検討した予算編成の方針をもとに財務計画をたてていくこととした。近年の収支推移を分析し、今後の見通しを立てた結果、会員登録料を見直すこととなり、加盟団体に向けて説明会を開催し理解を求めた。新たに制定された会員登録料は令和7年度より適用することとした。

6. 中期基本計画(2022年度～2026年度)、長期基本計画(未来構想)(2022年度～2041年

度)に基づき事業の推進を行った。また、創立 100 周年を迎え、この歴史的な節目を機に、これまでの歩みを振り返るとともに、次の 100 年に向けた新たな指針を定めるべく、新たにMVVの策定に着手した。日本ソフトテニス連盟の存在意義を再定義し、競技のさらなる発展と社会への貢献に向け、次世代に本連盟の使命や価値をつなげていくこととした。

〔庶務事項〕

1. 会議等の開催に関する事項

- (1) 評議員会 〈別表 14〉
- (2) 理事会 〈別表 15〉
- (3) 運営本部会議 〈別表 16〉
- (5) 専門委員会・部会 〈別表 17〉
- (6) 会計監査 〈別表 18〉

2. 会員登録に関する事項

会員登録数は〈別表 19〉のとおり。

3. 分担金に関する事項

- (1) 支部分担金 一律 150,000 円×50 支部 7,500,000 円
- (2) 会員登録料は〈別表 20〉のとおり。
- (3) 維持会費
 - ア. 公認メーカー 〈別表 21〉
 - イ. 施設業者 〈別表 22〉
 - ウ. 一般 〈別表 23〉

4. 補助金・助成金等に関する事項

- (1) 補助金 〈別表 24〉
- (2) 助成金 〈別表 25〉
- (3) 交付金 〈別表 26〉
- (4) 委託金 〈別表 27〉

5. 協賛金・寄付金に関する事項

- (1) 協賛金 〈別表 28〉
- (2) 寄付金 〈別表 29〉

6. 傷害補償制度の給付金に関する事項 〈別表 30〉

〈別表 1〉

主催大会	開催地	日程
第 17 回 世界選手権日本代表予選会	宮城県仙台市	令和 6 年 4 月 27 日 (土) ・ 28 日 (日)
第 31 回 全日本シングルス選手権大会	福島県 会津若松市	令和 6 年 5 月 18 日 (土) ・ 19 日 (日)
第 5 回 全日本ミックスダブルス選手権大会	奈良県 明日香村	令和 6 年 6 月 15 日 (土) ・ 16 日 (日)
男子第 69 回・女子第 68 回全日本実業団選手権大会	滋賀県長浜市	令和 6 年 7 月 26 日 (金) ～ 28 日 (日)
第 41 回 全日本小学生選手権大会	岡山県岡山市	令和 6 年 8 月 1 日 (木) ～ 4 日 (日)
第 52 回 全日本社会人選手権大会	石川県金市・ 小松市	令和 6 年 9 月 14 日 (土) ・ 15 日 (日)
JOC ジュニアオリンピックカップ/ 第 31 回 全日本ジュニア選手権大会	広島県広島市	令和 6 年 10 月 5 日 (土) ・ 6 日 (日)
第 28 回 全日本シニア選手権大会	茨城県水戸市・ 神栖市・ 北茨城市	令和 6 年 10 月 12 日 (土) ・ 13 日 (日)
第 2 回 STリーグⅡ	京都府福知山市	令和 6 年 10 月 25 日 (金) ～ 27 日 (日)
第 31 回 全日本クラブ選手権大会	千葉県白子町	令和 6 年 10 月 26 日 (土) ・ 27 日 (日)
第 79 回 天皇賜杯・皇后賜杯全日本選手権大会	東京都江東区	令和 6 年 11 月 8 日 (金) ～ 10 日 (日)
第 2 回 STリーグ	愛知県豊田市	令和 6 年 12 月 12 日 (木) ～ 15 日 (日)
STリーグ／プレーオフ	広島県福山市	令和 6 年 12 月 20 日 (土) ～ 22 日 (日)
第 70 回 全日本インドア選手権大会	大阪府大阪市	令和 7 年 2 月 2 日 (日)

共催大会	開催地	日程
第 53 回 ハイスchoolジャパンカップ	北海道札幌市	令和 6 年 6 月 20 日 (木) ～ 23 日 (日)
西日本シニア選手権大会	佐賀県佐賀市 他	令和 6 年 6 月 22 日 (土) ・ 23 日 (日)
第 78 回 西日本選手権大会	沖縄県沖縄市	令和 6 年 6 月 29 日 (土) ・ 30 日 (日)
第 79 回 東日本選手権大会	千葉県白子町	令和 6 年 7 月 20 日 (土) ・ 21 日 (日)
全日本高校選手権大会(女子)	長崎県長崎市	令和 6 年 7 月 25 日 (木) ～ 28 日 (日)
全日本高校選手権大会(男子)	長崎県長崎市	令和 6 年 7 月 29 日 (月) ～ 8 月 1 日 (木)
第 51 回 全日本レディース大会(個人戦)	長野県長野市・ 松本市	令和 6 年 8 月 3 日 (土) ・ 4 日 (日)
第 55 回 全国中学校大会	石川県金沢市・ 白山市・津幡町	令和 6 年 8 月 19 日 (月) ～ 21 日 (水)
第 46 回 全日本レディース決勝大会(団体戦)	北海道旭川市	令和 6 年 8 月 20 日 (火) ～ 22 日 (木)
全日本学生選手権大会	沖縄県沖縄市	令和 6 年 9 月 10 日 (火) ～ 16 日 (月)
第 79 回 国民スポーツ大会	佐賀県唐津市	令和 6 年 9 月 20 日 (金) ～ 24 日 (月)
日本スポーツマスターズ 2024	長崎県諫早市	令和 6 年 9 月 28 日 (土) ・ 29 日 (日)
第 4 回 全日本レディース決勝大会(シニアの部)	大阪府大阪市	令和 6 年 10 月 8 日 (火) ・ 9 日 (水)
第 19 回 ジュニアジャパンカップ 「競技者育成プログラム(Step-4)」	宮城県宮崎市	令和 6 年 11 月 22 日 (金) ～ 25 日 (月)
第 5 回 平和カップひろしま国際大会	広島県広島市	令和 7 年 3 月 8 日 (土) ・ 9 日 (日)
第 36 回 都道府県対抗全日本中学生大会	三重県伊勢市	令和 7 年 3 月 26 日 (水) ～ 28 日 (金)
第 50 回 全日本高校選抜大会	和歌山県和歌山市	令和 7 年 3 月 28 日 (金) ～ 30 日 (日)
第 24 回 全国小学生大会	千葉県白子町	令和 7 年 3 月 29 日 (土) ～ 31 日 (月)

国際大会	開催地	日程
第32回 日・韓・中ジュニア交流競技大会	韓国 聞慶市	令和6年8月26日(月)～29日(木)
第17回 世界選手権大会	韓国 安城市	令和6年9月3日(火)～9日(月)

その他	開催地	日程
第36回 ねんりんピック2024	鳥取県米子市・北栄町・日野町	令和6年10月19日(土)～22日(火)

(注)大会参加者数は〈別表30〉に掲載

〈別表2〉

地域等における競技会開催補助

事業名	補助金額
9地区選手権大会	9地区×200,000円
地区高校選抜大会	9地区×100,000円
地区中学選手権大会	9地区×100,000円
全日本シニア東西対抗大会	400,000円
全日本学生同好会大会	200,000円

〈別表3〉

ナショナルチーム選手派遣事業(敬称略)

派遣先	期日	派遣選手名
北海道	令和7年2月8日(土)～2月9日(日)	黒坂 卓矢、片岡 暁紀
愛媛県	令和7年2月8日(土)～2月9日(日)	矢野 颯人、安達 宣
石川県	令和7年3月15日(土)	端山 羅行

〈別表4〉

技術等級認定者数

(数値:名)

等級	名誉 指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1級	2級	3級	4級	計
令和6年度	0	2	139	19	397	18	306	1,660	1,455	1,660	5,656
令和5年度	0	1	117	4	367	13	307	1,579	1,664	1,416	5,468

(注)令和6年度都道府県別認定者数は〈別表31〉に掲載

〈別表5〉

公認審判員の認定を次のとおり行った。

(数値:名)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
マスターレフェリー	58	41	57	41	55	44
マスターアンパイヤー	62	80	85	69	68	71
1級	223	258	201	214	305	255
2級	新規(一般・高校)	16,689	11,455	13,453	15,480	17,421
	更新(一般)	5,274	5,361	5,857	5,172	5,036
	移行(高校)	8,149	7,461	7,318	7,887	8,606
ジュニア	36,068	24,594	34,879	28,508	38,243	34,113
計	66,523	49,250	61,850	57,371	63,194	63,083

(注)令和6年度都道府県別認定者数は〈別表32〉に掲載

〈別表 6〉

1 級審判員の検定会・研修会

	実施期日	会場	参加者
検定会	令和 6 年 7 月 6 日(土)、7 日(日)	京都府・京都府山城総合運動公園／久御山高等学校	62 名
	令和 6 年 11 月 2 日(土)、3 日(日)	青森県・青森県新総合運動公園体育館「マエダアリーナ」	27 名
研修会	令和 6 年 11 月 16 日(土)	奈良県・長柄運動公園	5 名
	令和 7 年 1 月 12 日(日)	長崎県・長崎県立総合体育館	24 名
	令和 7 年 1 月 18 日(土)	三重県・三重県三重交通 G スポーツの杜	14 名
	令和 7 年 1 月 26 日(日)	広島県・東広島運動公園	26 名
	令和 7 年 1 月 26 日(日)	山梨県・富士北麓公園体育館	18 名
	令和 7 年 1 月 26 日(日)	石川県・金沢勤労者プラザ／金沢城北市民テニスコート	18 名
	令和 7 年 2 月 2 日(日)	福島県・本宮市立本宮第一中学校体育館	41 名
	令和 7 年 2 月 16 日(日)	香川県・観音寺市立総合体育館	14 名

〈別表 7〉

ソフトテニスハンドブック、ジュニア審判マニュアル等

(数値:冊/枚)

年 度	ソフトテニス ハンドブック	採点票	オーダー票	イエローカード等	ジュニア審判 マニュアル
令和 6 年度	21,564	3,130	985	21,644	—
令和 5 年度	22,040	2,583	720	22,054	48,600

〈別表 8〉

公認事業者名(用具用品)

	対象	公認メーカー
用具用品	ラケット 6 社	ミズノ・ヨネックス・ゴーセン・住友ゴム工業・アルペン・落合コーポレーション
	ボール 3 社	昭和ホールディングス・ナガセケンコー・住友ゴム工業
	ネット 10 社	鐘屋産業・アシックスジャパン・寺西喜商店・ミセキネット・昭和ホールディングス・高須賀・ティエヌネット・鶴沢ネット・豊貿易・カスミ
	ストリング 4 社	ゴーセン・トアルソン・ヨネックス・ミズノ
	ユニフォーム 6 社	ミズノ・昭和ホールディングス・ヨネックス・ゴーセン・アシックスジャパン・住友ゴム工業
	シューズ 7 社	アシックスジャパン・ヨネックス・ミズノ・グローブライド・ニューバランスジャパン・アメアスポーツジャパン・アルペン
施設・製造	砂入り人工芝 製造業者 6 社	住友ゴム工業・積水樹脂・東レアムテックス・MCC スポーツ・大嘉産業・泉州數物

〈別表 9〉

ラケットの証紙およびネット証布の発行

(数値:枚)

年 度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
ラケット証紙	333,465	237,580	331,570	289,110	288,350	284,270
ネット証布	3,030	2,200	2,550	3,050	1,700	2,500

〈別表 10〉

競技者育成プログラム Step-3

ブロック名	期 日	参加 選手数	各支部 代表	カテゴリー別 指導者	ブロック 運営委員	データ 管 理	日本連盟 運営委員	総計
北海道・東北(宮城県・仙台市)	8/30～9/1	66 人	7 人	28 人	2 人	4 人	2 人	109 人
関 東 (埼玉県・熊谷市)	8/23～8/25	79 人	8 人	32 人	2 人	4 人	2 人	127 人
北信越 (福井県・福井市)	8/30～9/1	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
東 海 (三重県・鈴鹿市)	8/23～8/25	40 人	5 人	15 人	2 人	4 人	2 人	68 人

近 畿 (和歌山県・和歌山市)	8/23～8/25	60 人	6 人	24 人	2 人	4 人	2 人	98 人
中 国 (岡山県・岡山市)	8/23～8/25	50 人	5 人	20 人	2 人	4 人	2 人	83 人
四 国 (愛媛県・今治市)	8/23～8/25	40 人	4 人	16 人	2 人	4 人	2 人	68 人
九 州 (熊本県・熊本市)	8/23～8/25	80 人	8 人	31 人	2 人	4 人	2 人	127 人
合 計		415 人	43 人	166 人	14 人	28 人	14 人	680 人

〈別表 11〉

(1) 日本代表チームおよびナショナルチーム(男子・女子)強化合宿

			期 日	スタッフ	選手	会場
日本代表		1	令和 6 年 5 月 30 日(木)～6 月 4 日(火)	10	20	愛媛県・松山市
		2☆	令和 6 年 8 月 2 日(金)～8 月 7 日(水)	12	14	広島県・福山市
		3	令和 6 年 8 月 20 日(火)～8 月 23 日(金)	4	11	韓国・安城市
		4	令和 6 年 8 月 29 日(木)～9 月 1 日(日)	10	14	宮城県・仙台市
ナショナル	男子	1☆	令和 6 年 4 月 14 日(日)～4 月 19 日(金)	5	16	宮城県・仙台市
		2	令和 7 年 2 月 26 日(水)～3 月 3 日(月)	12	16	三重県・四日市市
	女子	1☆	令和 6 年 4 月 14 日(日)～4 月 19 日(金)	5	16	宮城県・仙台市
		2☆	令和 7 年 2 月 2 日(日)～2 月 7 日(金)	12	16	三重県・四日市市

(2) 全日本 U-14.U-17.U-20(男子・女子*令和 6 年 12 月から U-21 に名称変更) 強化合宿

			期 日	スタッフ	選手	会場
男子	U-20	1☆	令和 6 年 4 月 17 日(水)～4 月 19 日(金)	3	10	宮城県・仙台市
		2☆	令和 6 年 9 月 25 日(水)～9 月 27 日(金)	3	10	東京都・江東区
		3☆	令和 6 年 10 月 15 日(火)～10 月 17 日(水)	4	10	東京都・江東区
	U-21	4	令和 7 年 3 月 2 日(日)～3 月 5 日(水)	3	10	三重県・四日市市
	U-17	1☆	令和 6 年 4 月 16 日(火)～4 月 18 日(木)	3	18	宮城県・仙台市
		2 (日韓中前)	令和 6 年 8 月 23 日(金)～8 月 24 日(土)	2	6	神奈川県・平塚市
		3☆	令和 6 年 10 月 29 日(火)～10 月 31 日(木)	3	13	大阪府・大阪市
		4	令和 7 年 3 月 2 日(日)～3 月 4 日(火)	3	18	三重県・四日市市
	U-14	1☆	令和 6 年 7 月 2 日(火)～7 月 5 日(金)	3	20	福島県・棚倉町
		2☆	令和 7 年 2 月 28 日(金)～3 月 3 日(月)	4	20	三重県・四日市市
女子	U-20	1☆	令和 6 年 5 月 14 日(火)～5 月 16 日(木)	4	13	福島県・棚倉町
		2☆	令和 6 年 11 月 4 日(月)～11 月 6 日(水)	4	12	東京都・江東区
	U-21	3☆	令和 7 年 2 月 3 日(月)～2 月 6 日(木)	5	15	三重県・四日市市
	U-17	1☆	令和 6 年 4 月 15 日(月)～4 月 18 日(木)	3	15	沖縄県・名護市
		2 (日韓中前)	令和 6 年 8 月 23 日(金)～8 月 24 日(土)	1	6	神奈川県・平塚市
		3☆	令和 7 年 2 月 3 日(月)～2 月 6 日(木)	3	13	三重県・四日市市
	U-14	1☆	令和 6 年 5 月 19 日(日)～5 月 22 日(水)	3	18	福島県・棚倉町
		2☆	令和 7 年 2 月 3 日(月)～2 月 6 日(木)	3	19	三重県・四日市市

(注 1) ☆印は(公財)日本オリンピック委員会の補助事業である。(選手強化事業 14,611,000 円)

〈別表 12〉

強化スタッフ・強化選手の国際大会派遣

大会名	開催地	派遣期間
2024 仁川コリアカップ	韓国 仁川市	令和6年6月17日(月)～24日(月)
第32回 日・韓・中ジュニア交流競技大会	韓国 聞慶市	令和6年8月24日(土)～31日(土)
第17回 世界選手権大会	韓国 安城市	令和6年9月1日(日)～10日(火)
第4回世界ジュニア選手権大会	中国 湖北省	令和6年10月31日(木)～11月7日(木)
第2回インド国際大会	インド ウッタール・ プラーデシュ州	令和7年3月16日(日)～24日(月)

〈別表 13〉

強化委員・強化スタッフの大会視察派遣(敬称略)

大会名	派遣者
世界選手権日本代表予選会	篠原 秀典、増田 健人、佐藤 英宣、菅野 創世、三浦 洋美
全日本シングルス選手権大会	篠原 秀典、増田 健人、菅野 創世、紙森 隆弘、伊加 英隆 武元 望美
全日本ミックスダブルス選手権大会	篠原 秀典、佐藤 英宣、
ジュニアオリンピックカップ大会	松口 友也、合田 清志、塩寄 弘騎、松崎 法夫
全日本選手権大会	増田 健人、三浦 洋美、紙森 隆弘、伊加 英隆、塩寄 弘騎
ハイスクールジャパンカップ	松口 友也、高橋 茂
全国中学校大会	合田 清志、松崎 法夫
全日本学生選手権大会	紙森 隆弘、武元 望美
全日本高校選手権大会	堀 晃大、高橋 茂、神谷 絵梨奈
全日本高校選抜大会	松口 友也

〈別表 14〉

評議員会

会議名	期日	開催会場等
定時評議員会	令和6年6月23日(日)	リモート会議
臨時評議員会	令和7年2月16日(日)	リモート会議

〈別表 15〉

理事会

回数	期日	開催会場等
第1回	令和6年5月29日(水)	リモート会議
第2回	令和6年6月22日(土)	アワーズイン阪急(東京都品川区)
第3回	令和6年6月23日(日)	アワーズイン阪急(東京都品川区)
第4回	令和6年7月13日(土)	きゅりあん(東京都品川区)
第5回	令和6年10月20日(日)	リモート会議
第6回	令和6年12月8日(日)	リモート会議
第7回	令和7年1月18日(土)	リモート会議
第8回	令和7年1月22日(水)	決議の省略
第9回	令和7年2月15日(土)	リモート会議
第10回	令和7年3月21日(金)	決議の省略

〈別表 16〉

運営本部会議

回数	期日	開催会場等
第 1 回	令和 6 年 7 月 12 日(金)	リモート会議
第 2 回	令和 6 年 7 月 30 日(火)	リモート会議
第 3 回	令和 6 年 8 月 10 日(土)	リモート会議
第 4 回	令和 6 年 8 月 22 日(木)	リモート会議
第 5 回	令和 6 年 9 月 5 日(木)	リモート会議
第 6 回	令和 6 年 9 月 17 日(火)	リモート会議
第 7 回	令和 6 年 10 月 1 日(火)	リモート会議
第 8 回	令和 6 年 10 月 15 日(火)	リモート会議
第 9 回	令和 6 年 10 月 19 日(土)	リモート会議
第 10 回	令和 6 年 11 月 5 日(火)	リモート会議
第 11 回	令和 6 年 11 月 10 日(日)	リモート会議
第 12 回	令和 6 年 11 月 21 日(木)	リモート会議
第 13 回	令和 6 年 12 月 7 日(土)	リモート会議
第 14 回	令和 6 年 12 月 19 日(木)	リモート会議
第 15 回	令和 7 年 1 月 9 日(土)	リモート会議
第 16 回	令和 7 年 1 月 18 日(土)	リモート会議
第 17 回	令和 7 年 1 月 30 日(木)	リモート会議
第 18 回	令和 7 年 2 月 15 日(土)	リモート会議
第 19 回	令和 7 年 2 月 27 日(木)	リモート会議
第 20 回	令和 7 年 3 月 13 日(木)	リモート会議
第 21 回	令和 7 年 3 月 27 日(木)	リモート会議

〈別表 17〉

委員会・部会		開催日					
総務委員会		9/30	10/21	11/25	1/28		
財務委員会		8/8	10/3	1/29			
会員登録委員会							
デジタル委員会		8/5	1/23				
倫理・コンプライアンス委員会		12/10					
競技委員会		5/14	8/29	2/7			
	等級制度部会	12/4	2/4	3/10			
	プログラム編成部会	4/20	5/16	6/27	7/6	8/20	9/13
		9/14	9/26	10/12	2/22		
	用具・用品・施設部会	2/18					
審判委員会		5/9	6/6	11/9			
強化委員会		6/16	11/10	12/27			
	強化スタッフ部会	11/24	1/16				
アスリート委員会							
競技者育成プログラム委員会		12/16					
指導者育成委員会		6/4					
医科学委員会		10/16					
	医学部会	1/20					
	アンチ・ドーピング部会	10/11	3/18				
	トレーナー部会	8/16	2/22				
	スポーツ科学部会	1/22					
生涯スポーツ委員会							
	環境・教育部会						
マーケティングプランニング委員会							

広報委員会	4/11	6/12	1/28	3/25		
機関誌部会	4/3	5/9	6/3	7/1	8/5	9/4
	10/4	11/7	12/6	1/10	2/7	3/7
2026 アジア競技大会準備委員会						
スポーツ団体ガバナンスコード推進委員会						
運動部活動地域移行推進委員会	10/21	11/11	11/27	1/10	2/3	
国際委員会	4/30	10/29	1/25			
指導基本規程違反救済審査委員会						

〈別表 18〉

会計監査

対象	期日	会場
公認会計士 監査	令和 6 年 5 月 22 日	日本ソフトテニス連盟事務局
	令和 6 年 5 月 23 日	日本ソフトテニス連盟事務局
日本連盟監事 監査	令和 6 年 5 月 22 日	日本ソフトテニス連盟事務局
	令和 6 年 5 月 27 日	日本ソフトテニス連盟事務局

〈別表 19〉

会員登録数(10 年間の推移)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
令和6年度	12,236	39,676	13,954	204,101	63,042	833	6,316	340,158
令和5年度	12,366	39,897	14,240	207,286	61,917	909	6,253	342,868
令和4年度	10,770	40,233	14,484	206,153	67,207	841	6,669	346,357
令和3年度	11,300	41,364	15,566	225,592	72,367	868	7,256	374,313
令和2年度	10,763	40,388	15,163	169,625	62,730	702	6,408	305,779
令和元年度	11,713	44,799	18,101	247,103	79,834	933	7,591	410,074
平成30年度	11,543	45,457	18,720	253,099	83,464	1,014	7,614	420,911
平成29年度	11,278	46,143	19,568	268,007	85,176	1,069	7,876	439,117
平成28年度	11,073	46,346	19,728	280,857	85,632	1,037	7,945	452,618
平成27年度	10,572	46,683	19,412	288,530	84,365	1,023	7,690	458,275

(注)都道府県別会員数は 〈別表 33〉に掲載。

〈別表 20〉

会員登録料

(単位:円)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
令和 6 年度	12,236,000	39,676,000	6,977,000	102,050,500	31,521,000	416,500	3,158,000	196,035,000
令和 5 年度	12,366,000	39,897,000	7,120,000	103,643,000	30,958,500	454,500	3,126,500	197,565,500

〈別表 21〉

維持会費 公認メーカー22 社:延 36 社(前年度 39 社)

(単位:円)

	ラケット	ボール	ネット	ストリング	ユニフォーム	シューズ
令和 6 年度	6 社	3 社	10 社	4 社	6 社	7 社
	600,000	6,210,000	1,000,000	2,640,000	6,960,000	3,360,000
令和 5 年度	7 社	3 社	10 社	4 社	7 社	8 社
	700,000	6,210,000	1,000,000	2,640,000	8,120,000	3,840,000

〈事業者名〉

用具・用品	公認メーカー
ラケット 6 社	ミズノ・ヨネックス・ゴーセン・住友ゴム工業・アルペン・落合コーポレーション
ボール 3 社	昭和ホールディングス・ナガセケンコー・住友ゴム工業
ネット 10 社	鐘屋産業・アシックスジャパン・寺西喜商店・ミセキネット・昭和ホールディングス・高須賀・テイエヌネット・鶴沢ネット・豊貿易・カスミ
ストリング 4 社	ゴーセン・トアルソン・ヨネックス・ミズノ
ユニフォーム 6 社	ミズノ・昭和ホールディングス・ヨネックス・ゴーセン・アシックスジャパン・住友ゴム工業
シューズ 7 社	アシックスジャパン・ヨネックス・ミズノ・グローブライド・ニューバランスジャパン・アメアスポーツジャパン・アルペン

〈別表 22〉

維持会費 施設業者 6 社:延べ 6 社(前年度 7 社) (単位:円)

年 度	砂入り人工芝	人工クレーコート
令和 6 年度	6 社 3,000,000	
令和 5 年度	6 社 3,000,000	1 社 500,000

〈事業者名〉

施設・製造	業 者 名
砂入り人工芝製造業者 6 社	住友ゴム工業・積水樹脂・東レアムテックス・MCC スポーツ・大嘉産業・泉州敷物

〈別表 23〉

維持会費 一般 90 件 計 1,270,000 円 (前年度 96 件 計 1,220,000 円) (単位:円) (敬称略)

60,000	アキム株式会社							
50,000	安道 光二	京都						
40,000	テイエヌネット株式会社							
30,000	ナガセケンコー株式会社	栗原 博	埼玉					
20,000	石川県ソフトテニス連盟	沖縄県ソフトテニス連盟	埼玉県ソフトテニス連盟	静岡県ソフトテニス連盟				
	栃木県ソフトテニス連盟	長野県ソフトテニス連盟	奈良県ソフトテニス連盟	山口県ソフトテニス連盟				
	共和株式会社	(株)ゴーセン	尽誠学園高等学校 女子ソフトテニス部	スポーツインテリジェンス(株)				
	大嘉産業(株)	丸菱産業(株)	ミズノ(株)	三田ソフトテニス倶楽部				
	明宏印刷(株)	豊貿易(株)	(株)ルーセント	佐伯 善春	佐賀			
	浪岡 正行	岩手						
10,000	天野 晴夫	三重	安藤 正美	香川	石岡 重光	京都	石川 雅利	千葉
	井田 博史	東京	井上 清一	石川	井上 創	兵庫	今井 誠則	広島
	上田 竜次	京都	上野 渉	石川	漆畑 勝之	静岡	運上 琢論	北海道
	大野 勝敏	埼玉	大前 秀樹	広島	小川 信也	岐阜	小田 宗雄	熊本
	小原 信幸	岡山	香川 翔	香川	鍵 紀代子	宮城	笠井 達夫	神奈川
	加藤 育広	秋田	川島 裕和	石川	川畑 城	鹿児島	神崎 公宏	三重
	菊間 路人	埼玉	木下 道夫	東京	小林 正	静岡	斉藤 元三	愛知
	篠邊 保	愛知	佐藤 栄一	群馬	佐藤 敬治	岡山	佐藤 健司	東京

重田 衛	千葉	重平 静洋	岡山	白水 厚二	大分	高野 健二	茨城
竹内 英高	愛知	田中 和雄	広島	多田 光廣	香川	津田 誠	愛知
鳥羽 敬子	三重	永井 茂樹	石川	長岡 敏久	埼玉	中村 進	埼玉
中村 正広	福岡	西村 信寛	東京	額賀 富雄	茨城	笛岡 宣明	愛知
藤島 淑子	神奈川	堀越 浩	千葉	牧野 伸一	京都	増木 博一	京都
宮下 恭子	大阪	森田 賢二	兵庫	森田 哲好	群馬	柳下 秋久	東京
山口 眞護	東京	山下 晴海	埼玉	山本 毅	京都	横田 南	埼玉
横山 隆二	東京	吉川 愛	神奈川	吉田 博紀	熊本	萬 正一	秋田

〈別表 24〉

補助金 合計額 15,329,000 円 (前年度 9,621,020 円) (単位:円)

(公財)日本オリンピック委員会	選手強化事業	14,611,000
	強化活動の DX 促進支援事業	718,000

〈別表 25〉

助成金 合計額 57,250,071 円 (前年度 52,983,980 円) (単位:円)

(独法)日本スポーツ振興センター (スポーツ振興基金助成金)	競技会開催(全日本選手権大会)	4,155,000
	競技会開催(全日本ジュニア選手権大会)	1,200,000
	小計	5,355,000
(独法)日本スポーツ振興センター (スポーツ振興くじ)	競技者育成プログラム(Step-1～Step-3)	37,316,000
	ドーピング防止啓発活動推進	788,000
	ドーピング検査	37,000
	組織基盤強化事業	900,000
	小計	39,041,000
国民体育大会実行委員会	国民体育大会役員旅費	1,539,240
(公財)ヨネックススポーツ財団	若手強化選手育成のメディカルチェック(TSC)	759,831
	国際交流普及助成事業	2,500,000
	能登半島地震復興支援助成事業	1,000,000
(公財)ミズノスポーツ振興財団	ジュニア育成に対する助成金	2,000,000
愛媛県	スポーツ合宿誘致促進事業費補助金 (日本代表候補合宿)	500,000
愛媛県松山市	スポーツ大会・合宿等開催助成金 (日本代表候補合宿)	100,000

〈別表 26〉

交付金 合計額 3,527,750 円 (前年度 3,310,300 円) (単位:円)

(公財)日本オリンピック委員会	マーケティングプログラム交付金(強化事業)	3,216,000
(公財)日本スポーツ協会	日本スポーツマスターズ運営補助交付金	202,750
	スポーツ指導者育成交付金	109,000

〈別表 27〉

委託金 合計額 2,686,700 円 (前年度 612,140 円)		(単位:円)
(公財) 日本スポーツ協会	日本スポーツマスターズ委託金	1,480,514
	公認コーチ3養成講習会委託金	1,006,186

〈別表 28〉

協賛金 合計額 22,450,000 円 (前年度 19,450,000 円)		(単位:円)
ヨネックス(株) オフィシャルサプライヤー協賛金(ユニフォーム、ストリング)		17,000,000
ナガセケンコー(株) オフィシャルサプライヤー協賛金(大会使用球)		1,000,000
(株)ルーセント オフィシャルサプライヤー協賛金(大会使用球)		1,000,000
住友ゴム(株) オフィシャルサプライヤー協賛金(大会使用球)		1,000,000
(株)ミズノ 全日本インドア選手権大会協賛金		250,000
アキム 株式会社 ブロンズスポンサー料		1,100,000
青木フルーツ株式会社 ブロンズスポンサー料		550,000
株式会社 ニコン・エシロール ブロンズスポンサー料		550,000

〈別表 29〉

寄付金 合計額 1,900,000 円 (前年度 200,000 円)		(単位:円)
株式会社青木商店 (ソフトテニス普及振興への寄付)		1,000,000
株式会社 FAS (ソフトテニス普及振興への寄付)		500,000
安道カップチャリティゴルフ (ソフトテニス強化事業への寄付)		200,000
安道カップチャリティゴルフ (ソフトテニス国際普及への寄付)		200,000

(敬称略)

〈別表 30〉

傷害補償制度の給付金対象件数								(単位:件)
17 件、645,000 円給付した。(前年度:30 件 848,000 円)								
年度	アキレス腱断裂	骨折	靱帯損傷	肉離れ	捻挫	その他	死亡	計
令和 6 年度	5	3	2	2	1	4	0	17
令和 5 年度	9	9	4	1	1	6	0	30

〈内訳〉

							(単位:件)
傷害の内容	一般	大学生	高専	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	5	0	0	0	0	0	5
骨折	3	0	0	0	0	0	3
靱帯損傷	2	0	0	0	0	0	2
肉離れ	2	0	0	0	0	0	2
捻挫	1	0	0	0	0	0	1
その他	4	0	0	0	0	0	4
死亡	0	0	0	0	0	0	0
計	17	0	0	0	0	0	17

〈別表31〉
大会一覧表

月	日	大会名	会場	種別	参加者数
4	27・28	第17回 世界選手権日本代表予選会	仙台市青葉山公園庭球場	男子ダブルス	43
				女子ダブルス	42
					85 (単位:ペア)
5	18・19	第31回 全日本シングルス選手権大会	福島県会津若松市 会津総合運動公園テニスコート	男子シングルス	297
				女子シングルス	271
				計	568 (単位:人)
6	15・16	第5回 全日本ミックスダブルス選手権大会	奈良県明日香村 奈良県立橿原公苑明日香庭球場 ロート奈良テニスコート(鴻ノ池コート)	一般	113
				35歳	48
				45歳	56
				50歳	70
				55歳	71
				60歳	51
				65歳	49
				70歳	50
				計	508 (単位:ペア)
7	26～28	男子第69回・女子第68回 全日本実業団選手権大会	滋賀県長浜市 長浜市民庭球場 長浜バイオ大学ドーム	男子団体	124
				女子団体	19
				計	143 (単位:チーム)
8	1～4	第41回 全日本小学生選手権大会	岡山県岡山市 岡山市総合公園テニスコート 岡山県総合グラウンド南テニスコート	男子団体	48
				女子団体	48
				計	96 (単位:チーム)
				男子ダブルス	190
				女子ダブルス	192
				計	382 (単位:ペア)
9	14・15	第52回 全日本社会人選手権大会	石川県金沢市・小松市 金沢市宮城市民テニスコート 金沢市宮東金沢スポーツ広場テニスコート 小松運動公園末広テニスコート 石川県西部緑地公園テニスコート	一般男子ダブルス	352
				一般女子ダブルス	117
				男子ダブルス35	112
				女子ダブルス35	19
				男子ダブルス45	106
				女子ダブルス45	35
				計	741 (単位:ペア)
	5・6	JOCジュニアオリンピックカップ 第31回 全日本ジュニア選手権大会	広島県広島市 広島翔洋テニスコート	男子シングルス(U-14)	24
				女子シングルス(U-14)	27
				男子シングルス(U-17)	34
				女子シングルス(U-17)	35
				男子シングルス(U-20)	30
				女子シングルス(U-20)	30
				計	180 (単位:人)
				男子ダブルス(U-14)	11
				女子ダブルス(U-14)	13
				男子ダブルス(U-17)	17
				女子ダブルス(U-17)	17
				男子ダブルス(U-20)	16
				女子ダブルス(U-20)	16
				計	90 (単位:ペア)

	12・13	第28回 全日本シニア選手権大会	茨城県水戸市・神栖市・北茨城市 磯原地区運動公園テニスコート 神栖海浜公園テニスコート 水戸市総合運動公園テニスコート	男子ダブルス50	82
				女子ダブルス50	59
				男子ダブルス55	95
				女子ダブルス55	50
				男子ダブルス60	74
				女子ダブルス60	53
				男子ダブルス65	88
				女子ダブルス65	61
				男子ダブルス70	70
				女子ダブルス70	47
				男子ダブルス75	49
				女子ダブルス75	32
				男子ダブルス80	26
				女子ダブルス80	22
				計	808 (単位:ペア)
	25～27	第2回 STリーグⅡ	京都府福知山市 福知山市三段池科研電機テニスコート	男子団体	32
				女子団体	10
				計	42 (単位:チーム)
	26・27	第31回 全日本クラブ選手権大会	千葉県白子町 千葉県白子町サニーテニスコート	男子団体	200
				女子団体	55
				計	255 (単位:チーム)
11	8～10	第79回 天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会	東京都江東区 有明テニスの森公園ハードコート 有明コロシアム	男子ダブルス	189
				女子ダブルス	180
				計	369 (単位:ペア)
12	12～15	第2回 STリーグ	愛知県豊田市 スカイホール豊田	男子団体	8
				女子団体	8
				計	(単位:チーム)
	20～22	STリーグ/プレーオフ	広島県福山市 エフビコアリーナふくやま	男子団体	5
				女子団体	5
2	2	第70回 全日本インドア選手権大会	大阪府大阪市 Asueアリーナ大阪	男子ダブルス	12
				女子ダブルス	12
				計	24 (単位:ペア)
3	26～28	第36回 都道府県対抗全日本中学生大会	三重県伊勢市 三重県営サンアリーナ 三重交通G スポーツの杜 伊勢 体育館 伊勢市市営庭球場	男子団体	48
				女子団体	48
				計	96 (単位:チーム)
				男子ダブルス	144
				女子ダブルス	144
				計	288 (単位:ペア)
				男子シングルス	96
				女子シングルス	96
				計	192 (単位:人)

29～31	第24回 全国小学生大会	千葉県白子町 千葉県白子町サニーテニスコート	男子4年生以下ダブルス	175
			女子4年生以下ダブルス	180
			男子5年生ダブルス	180
			女子5年生ダブルス	180
			計	715
			(単位:ペア)	
			男子6年生シングルス	96
			女子6年生シングルス	96
			計	192
(単位:人)				

月	日	共催大会名	会場	種別	参加者数
6	20～23	第52回 ハイスクールジャパンカップ	北海道札幌市 札幌市円山庭球場	男子ダブルス	72
				女子ダブルス	72
				計	144
				(単位:ペア)	
				男子シングルス	64
				女子シングルス	64
	22・23	西日本シニア選手権大会	佐賀県佐賀市・唐津市 SAGAサンライズパーク テニスフィールド 佐賀県立森林公園テニスコート 佐賀市立テニスコート 松浦河畔公園庭球場 佐賀県立唐津東中学校・高校テニスコート	シニア男50	37
				シニア女50	28
				シニア男55	49
				シニア女55	38
				シニア男60	62
				シニア女60	37
				シニア男65	61
				シニア女65	41
				シニア男70	53
				シニア女70	30
				シニア男75	27
				シニア女75	23
				シニア男80	13
				シニア女80	15
				計	514
				(単位:ペア)	
	29・30	第78回 西日本選手権大会	沖縄県沖縄市 沖縄県総合運動公園 奥武山運動公園庭球場	一般男子	143
				一般女子	83
				男子35	19
				女子35	8
				男子45	20
				女子45	12
				計	285
				(単位:ペア)	
	20・21	第79回 東日本選手権大会	千葉県白子町 サニーコート他	一般男子	354
				一般女子	209
				男子35	74
				女子35	29
				男子45	54
				女子45	31
				シニア男子50	47
				シニア女子50	42
				シニア男子55	53
				シニア女子55	37
				シニア男子60	48
				シニア女子60	45
				シニア男子65	50
				シニア女子65	48

7				シニア男子70	59
				シニア女子70	39
				シニア男子75	29
				シニア女子75	25
				シニア男子80	19
				シニア女子80	22
				計	1,314 (単位:ペア)
	25～8/1	全日本高等学校選手権大会 女子 7月25日(木)～28日(日) 男子 7月29日(月)～8月1日(木)	長崎県長崎市 ベネックス総合運動公園(長崎市総合運動公園)かきどまり庭球場	女子個人	320
				計	320 (単位:ペア)
				女子団体	48
				計	48 (単位:チーム)
				男子個人	312
				計	312 (単位:ペア)
				男子団体	48
				計	48 (単位:チーム)
8	3・4	第51回 全日本レディース大会(個人戦)	長野県長野市・松本市 松本市浅間温泉庭球公園 南長野運動公園テニスコート 長野県運動公園総合運動場テニスコート 安曇野市豊科南部総合公園テニスコート 塩尻市中央スポーツ公園テニスコート	ふじ(初心者)	38
				すみれ(満18歳以上)	24
				ばら(35歳以上)	16
				ゆり(45歳以上)	100
				きく(55歳以上)	90
				あやめ(60歳以上)	124
				はぎ(65歳以上)	130
				さつき(70歳以上)	124
				さくら(75歳以上)	94
				もも(80歳以上)	53
				らん(85歳以上)	20
				計	813 (単位:ペア)
	19～21	第55回全国中学校大会	石川県金沢市 金沢市営城北市民テニスコート	男子個人	64
				女子個人	64
				計	128 (単位:ペア)
				男子団体	25
				女子団体	25
				計	50 (単位:チーム)
	20～22	第46回 全日本レディース決勝大会 (団体戦)	北海道旭川市 北海道旭川市の花咲スポーツ公園テニスコート	都道府県対抗	35
				計	35 (単位:チーム)

9	10～16	全日本学生選手権大会 第78回 文部科学大臣杯(大学対抗) 第79回 三笠宮賜杯(ダブルス) 全日本学生シングルス選手権大会	沖縄県沖縄市 沖縄県総合運動公園テニスコート・レクリエーションドーム 宜野湾海浜公園テニスコート 奥武山庭球場 漫湖公園市民庭球場	男子大学対抗	81
				女子大学対抗	57
				計	138 (単位:チーム)
				男子ダブルス	535
				女子ダブルス	344
				計	879 (単位:ペア)
				男子シングルス	52
				女子シングルス	53
				計	105 (単位:人)
	20～24	第78回 国民スポーツ大会	佐賀県唐津市 松浦河畔公園庭球場 佐賀県立唐津東中学校・高校テニスコート	少年男子	24
				少年女子	16
				成年男子	47
				成年女子	21
				計	108 (単位:チーム)
	28・29	日本スポーツマスターズ2024	長崎県諫早市 長崎県立総合運動公園テニスコート	都道府県対抗	30
				計	30 (単位:チーム)
10	8・9	第4回 全日本レディース決勝大会(シニアの部)	大阪府大阪市 マリンテニスパーク・北村	都道府県対抗	44
				計	44 (単位:チーム)
11	22～25	第19回 ジュニアジャパンカップ	宮崎県宮崎市 生目の杜運動公園テニスコート 宮崎市清武総合公園	男子シングルス(U-14)	36
				女子シングルス(U-14)	36
				男子シングルス(U-17)	36
				女子シングルス(U-17)	36
				計	144 (単位:人)
				男子ダブルス(U-14)	18
				女子ダブルス(U-14)	18
				男子ダブルス(U-17)	18
				女子ダブルス(U-17)	18
				計	72 (単位:ペア)
3	8・9	第5回 平和カップひろしま国際大会	広島県広島市 広島翔洋テニスコート 瀬野川公園テニスコート、佐伯運動公園	男子団体	135
				女子団体	60
				計	195 (単位:チーム)
	28～30	第50回 全日本高校選抜大会	和歌山県和歌山市 和歌山ビッグホエール	男子団体	36
				女子団体	36
				計	72 (単位:チーム)

技術等級認定実績

令和7年3月31日現在

加盟団体	名誉指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1級	2級	3級	4級	合計
1 北海道	0	0	7	0	13	0	5	25	11	0	61
2 青森県	0	0	0	0	3	0	0	7	25	58	93
3 岩手県	0	0	0	0	5	0	4	12	20	8	49
4 宮城県	0	0	11	0	6	0	6	37	32	3	95
5 秋田県	0	0	0	0	15	2	1	18	16	1	53
6 山形県	0	0	0	0	4	0	2	9	55	2	72
7 福島県	0	0	5	0	7	0	1	11	20	17	61
8 茨城県	0	0	3	0	21	0	4	87	25	14	154
9 栃木県	0	0	2	0	13	0	0	50	21	19	105
10 群馬県	0	0	2	0	19	0	11	82	15	111	240
11 埼玉県	0	0	8	0	14	2	35	126	323	420	928
12 千葉県	0	0	0	0	11	0	5	34	22	27	99
13 東京都	0	0	3	1	7	0	18	37	23	12	101
14 神奈川県	0	0	2	0	9	0	8	97	32	23	171
15 山梨県	0	0	0	0	4	0	11	40	18	59	132
16 新潟県	0	0	3	0	11	0	8	28	20	0	70
17 長野県	0	0	1	0	12	0	13	10	27	31	94
18 富山県	0	0	0	0	3	0	5	21	1	11	41
19 石川県	0	0	4	0	6	0	1	21	21	3	56
20 福井県	0	0	0	0	2	0	2	6	4	27	41
21 静岡県	0	0	0	1	12	0	8	26	28	0	75
22 愛知県	0	0	6	6	28	9	25	66	34	117	291
23 三重県	0	0	3	0	6	0	3	24	31	17	84
24 岐阜県	0	0	3	0	10	0	7	41	51	25	137
25 滋賀県	0	0	0	1	8	0	3	46	57	3	118
26 京都府	0	0	2	0	7	0	10	25	11	15	70
27 大阪府	0	0	0	1	8	2	1	53	15	4	84
28 兵庫県	0	0	2	2	4	1	9	38	11	15	82
29 奈良県	0	1	4	0	11	0	9	4	11	18	58
30 和歌山県	0	0	5	0	1	0	0	23	17	61	107
31 鳥取県	0	0	0	1	8	0	2	3	2	18	34
32 島根県	0	0	2	0	5	0	1	13	9	32	62
33 岡山県	0	1	3	1	5	0	4	57	27	0	98
34 広島県	0	0	6	0	6	0	4	51	57	31	155
35 山口県	0	0	1	0	9	2	17	80	35	6	150
36 徳島県	0	0	0	0	5	0	7	15	3	0	30
37 香川県	0	0	4	0	9	0	1	18	5	14	51
38 愛媛県	0	0	0	0	4	0	9	26	28	91	158
39 高知県	0	0	1	0	6	0	4	6	0	10	27
40 福岡県	0	0	1	0	4	0	9	7	19	0	40
41 佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
42 長崎県	0	0	1	0	7	0	6	16	19	16	65
43 熊本県	0	0	0	1	4	0	11	132	96	290	534
44 大分県	0	0	0	1	7	0	2	10	18	0	38
45 宮崎県	0	0	1	2	5	0	4	43	78	0	133
46 鹿児島県	0	0	3	1	3	0	4	16	30	26	83
47 沖縄県	0	0	0	0	1	0	0	4	27	0	32
48 日本学連	0	0	40	0	29	0	6	59	1	5	140
合計	0	2	139	19	397	18	306	1,660	1,455	1,660	5,656
前年度	0	1	117	4	367	13	307	1,579	1,664	1,416	5,468

公認審判員認定実績

令和7年3月31日現在

No	加盟団体	認定者数								合計	
		マスター レフェリー	マスター アンパイヤー	1級審判員		2級審判員					ジュニア
				新規	更新	一般	高校	一般	高校		
						新規	更新	Jr移行			
1	北海道	1	1	2	7	137	242	149	617	1,714	2,870
2	青森県	0	0	1	0	40	194	22	70	140	467
3	岩手県	0	0	0	0	94	77	109	470	1,083	1,833
4	宮城県	0	0	1	2	32	228	147	476	1,424	2,310
5	秋田県	0	0	2	7	79	30	75	219	558	970
6	山形県	3	1	2	2	72	49	32	230	680	1,071
7	福島県	0	0	2	8	64	57	94	381	1,551	2,157
8	茨城県	1	0	2	9	120	553	128	79	153	1,045
9	栃木県	1	2	0	3	63	872	57	192	2893	4,083
10	群馬県	1	0	1	1	60	263	67	90	203	686
11	埼玉県	4	6	5	4	299	697	449	611	3,134	5,209
12	千葉県	1	0	2	6	180	437	170	560	1,769	3,125
13	東京都	2	31	2	3	237	143	211	48	47	724
14	神奈川県	3	0	2	2	119	187	110	676	5853	6,952
15	山梨県	0	3	2	0	79	178	47	47	162	518
16	新潟県	1	5	2	3	77	60	48	267	1,470	1,933
17	長野県	0	0	12	3	143	411	120	38	1354	2,081
18	富山県	0	0	0	0	34	250	30	0	45	359
19	石川県	1	2	0	3	18	69	65	198	753	1,109
20	福井県	1	0	1	2	16	75	10	21	38	164
21	静岡県	1	7	5	7	106	82	189	413	2,957	3,767
22	愛知県	0	2	3	7	189	918	196	36	104	1,455
23	三重県	0	0	1	9	59	263	19	55	96	502
24	岐阜県	0	1	2	4	62	402	58	58	280	867
25	滋賀県	0	0	0	3	114	823	74	64	123	1,201
26	京都府	3	0	11	0	30	492	68	45	25	674
27	大阪府	1	0	0	2	86	167	169	32	27	484
28	兵庫県	0	0	1	3	59	19	133	11	66	292
29	奈良県	3	0	0	7	34	250	86	16	27	423
30	和歌山県	1	0	0	1	56	14	68	28	64	232
31	鳥取県	1	0	2	5	15	11	22	25	48	129
32	島根県	1	0	1	2	107	165	60	26	59	421
33	岡山県	2	4	2	2	51	503	25	64	108	761
34	広島県	0	0	6	0	62	795	178	51	72	1,164
35	山口県	0	2	0	3	83	414	123	44	139	808
36	徳島県	0	0	0	1	20	141	20	33	1	216
37	香川県	0	0	2	0	9	130	77	51	57	326
38	愛媛県	2	0	8	5	69	102	75	48	291	600
39	高知県	0	0	0	2	18	95	23	20	10	168
40	福岡県	0	1	0	2	97	525	125	65	529	1,344
41	佐賀県	0	0	5	3	33	27	45	179	519	811
42	長崎県	5	0	0	5	84	101	86	357	913	1,551
43	熊本県	0	0	1	4	188	48	42	312	1,285	1,880
44	大分県	1	3	2	0	37	93	34	133	969	1,272
45	宮崎県	1	0	2	5	17	148	60	43	78	354
46	鹿児島県	1	0	0	11	76	68	100	52	206	514
47	沖縄県	1	0	2	0	24	74	29	0	36	166
48	日本学連	0	0	0	0	460	0	575	0	0	1,035
合計		44	71	97	158	4,208	11,942	4,899	7,551	34,113	63,083
前年度		55	68	130	175	3,739	10,382	4,845	5,557	38,243	63,194

〈別表34〉

会員登録集計表(令和6年度)

令和7年3月31日現在

支部名	指導者	一般		小学生		中学生		高校生		高専		大学生		合 計	
	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
北海道	384	119	1,560	25	439	146	5,949	106	2,481	4	87	9	61	409	10,961
青森県	261	39	434	8	198	73	2,301	27	693	3	34	1	1	151	3,922
岩手県	442	49	848	27	360	91	2,713	42	1,161	5	37	2	10	216	5,571
宮城県	167	48	648	16	349	84	3,691	15	1,981	1	0	2	8	166	6,844
秋田県	272	26	528	13	306	64	1,765	34	654	4	35	1	12	142	3,572
山形県	183	30	489	16	261	51	1,970	32	745	1	5	1	0	131	3,653
福島県	351	55	478	26	433	109	4,317	40	1,162	3	30	0	17	233	6,788
茨城県	625	59	896	13	456	137	8,721	58	1,627	8	4	2	2	277	12,331
栃木県	168	31	629	16	369	81	5,136	42	1,058	0	22	0	1	170	7,383
群馬県	209	28	733	15	402	98	4,121	30	901	3	15	1	0	175	6,381
埼玉県	484	153	3,402	32	836	157	15,777	97	3,274	0	0	0	123	439	23,896
千葉県	678	77	1,595	18	402	180	13,416	71	2,425	0	6	0	9	346	18,531
東京都	297	114	3,140	18	356	100	3,446	116	3,529	15	0	0	50	363	10,818
神奈川県	436	62	860	17	321	230	15,924	108	2,693	1	0	1	28	419	20,262
山梨県	104	29	403	9	219	20	457	14	596	1	0	2	6	75	1,785
新潟県	188	56	639	17	302	103	2,966	41	911	2	0	0	1	219	5,007
長野県	149	34	1,256	15	313	74	2,790	35	1,206	3	10	0	4	161	5,728
富山県	140	11	312	9	240	34	1,916	22	723	0	0	1	22	77	3,353
石川県	53	35	499	9	282	35	2,388	27	847	0	0	2	33	108	4,102
福井県	35	18	242	3	107	18	745	10	317	0	0	1	12	50	1,458
静岡県	791	78	1,345	22	520	247	9,696	68	1,261	2	12	2	24	419	13,649
愛知県	301	106	2,203	16	585	125	13,970	88	4,491	4	33	0	1	339	21,584
三重県	174	33	433	10	211	84	4,442	41	1,128	2	2	0	0	170	6,390
岐阜県	61	47	833	17	279	243	4,022	38	1,374	3	0	0	2	348	6,571
滋賀県	115	20	350	6	284	29	733	19	1,232	1	0	1	0	76	2,714
京都府	167	59	618	6	281	29	905	28	1,236	3	0	0	1	125	3,208
大阪府	346	65	1,176	10	146	211	9,222	109	2,373	12	0	2	8	409	13,271
兵庫県	274	69	1,482	18	524	165	12,197	97	3,986	11	59	0	7	360	18,529
奈良県	135	23	647	7	81	50	2,158	21	686	0	2	1	7	102	3,716
和歌山県	195	35	670	13	234	68	2,582	18	598	1	29	1	0	136	4,308
鳥取県	72	22	335	9	136	21	635	13	380	1	8	0	1	66	1,567
島根県	108	28	391	5	193	34	1,565	39	662	6	0	0	0	112	2,919
岡山県	243	45	440	15	280	91	4,638	44	1,678	6	0	1	0	202	7,279
広島県	374	79	1,277	11	153	101	4,116	65	2,103	11	47	2	37	269	8,107
山口県	177	62	1,158	45	212	38	3,303	39	1,336	1	98	0	29	185	6,313
徳島県	155	16	276	7	102	55	1,523	17	405	1	43	0	0	96	2,504
香川県	47	25	309	10	185	33	1,791	20	504	2	3	0	1	90	2,840
愛媛県	150	32	601	7	294	91	3,478	44	950	3	63	5	35	182	5,571
高知県	80	33	295	3	91	11	339	16	310	0	5	0	2	63	1,122
福岡県	582	58	994	12	301	136	6,033	95	2,109	7	57	2	7	310	10,083
佐賀県	159	33	320	11	258	47	1,899	28	596	0	0	0	4	119	3,236
長崎県	434	52	742	14	280	107	3,082	85	1,277	4	17	3	61	265	5,893
熊本県	481	62	792	18	400	103	3,522	37	926	3	23	3	23	226	6,167
大分県	149	41	458	9	149	62	1,861	19	575	4	0	3	6	138	3,198
宮崎県	307	38	395	17	361	119	2,348	31	715	4	0	1	0	210	4,126
鹿児島県	405	75	946	26	327	131	3,023	48	828	2	44	3	10	285	5,583
沖縄県	82	26	599	8	136	24	509	21	339	2	3	0	5	81	1,673
日本学連	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	314	5,645	314	5,691
合 計	12,236	2,335	39,676	674	13,954	4,340	204,101	2,155	63,042	150	833	370	6,316	10,024	340,158
令和5年度	12,366	1,837	39,897	488	14,240	3,648	207,286	1,664	61,917	102	909	339	6,253	8,078	342,868

令和6年度表彰者名簿

1.	本	部	功	労	者
2.	支	部	功	労	者
3.	優	良	団	体	
4.	優	秀	監	督	
5.	優	秀	選	手	
6.	日	本	ス	ポ	一
7.	国	際	大	会	入
					ツ
					賞
					者

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟

1. 本部功労者	佐藤 健司（日本連盟理事）、森田 賢二（日本連盟理事）		
2. 支部功労者	別紙		
3. 優良団体	別紙		
4. 優秀監督			
最優秀監督	実業団	男 子	堀 晃大(広島・NTT西日本)
		女 子	田中 弘(東京・ナガセケンコー)
	大 学	男 子	竹野谷 徹(日本学連・法政大学)
		女 子	篠原 秀典(日本学連・日本体育大学)
	高 校	男 子	越智 敏晃(奈良・高田商業高校)
		女 子	吉田 美穂(宮城・東北高校)
	中 学	男 子	高橋 茂(東京・清明学園中学校)
		女 子	吉田 隆昭(京都・京都光華中学校)
	小学生	男 子	熱田 光男(東京・砦南ジュニアソフトテニスクラブ)
		女 子	新子 智子(奈良・T・Mクラブ)
優秀監督	実業団	男 子	高川 経生(東京・ヨネックス)
		女 子	外園 茂(鹿児島・SHIROYAMA HOTEL kagoshima)
	大 学	男 子	小野寺 剛(日本学連・早稲田大学)
		女 子	新本 弘司(日本学連・國學院大学)
	高 校	男 子	森 博朗(香川・尽誠学園高校)
		女 子	南本 昭紀(京都・京都光華高校)
	中 学	男 子	桐山 寿久(埼玉・上青木中学校)
		女 子	中村 正直(大阪・昇陽中学校)
	小学生	男 子	品川 均(千葉・ルーセント)
		女 子	橋本 孝明(岡山・倉敷ジュニアソフトテニスクラブ)
5. 優秀選手			
最優秀選手	男 子	船水 颯人(東京・稲門クラブ)	
		上松 俊貴(広島・NTT西日本)	
	女 子	天間 麗奈(宮城・東北高校)	
		宮前 希帆(日本学連・関西学院大学)	
優秀選手	男 子	内本 隆文(広島・NTT西日本)	
		内田 理久(広島・NTT西日本)	
	女 子	高橋 乃綾(広島・どんぐり北広島)	
		岩倉 彩佳(広島・どんぐり北広島)	
敢闘選手	男 子	上岡 俊介(京都・Up Rise)	
		丸山 海斗(大阪・one team)	
	女 子	前田 梨緒(日本学連・明治大学)	
		中谷 さくら(日本学連・明治大学)	
6. 日本スポーツ賞	上松 俊貴		
7. 国際大会入賞者	別紙		

令和6年度 支部功労者・優良団体

	支 部 名	支 部 功 労 者	支 部 功 労 者	優 良 団 体
1	北 海 道	工 藤 旻	飛 田 悦 男	北海道レディースソフトテニス連盟
2	青 森	古 内 和 雄	吉 田 和 久	F.challenge
3	岩 手	照 井 祐 輝	上 原 俊 博	奥州市ソフトテニス協会
4	宮 城	中 津 川 澄 男	本 田 文 子	宮城県仙台第一高等学校 ソフトテニス部
5	秋 田	柴 田 真 弓	武 藤 悟	STCFun
6	山 形	高 橋 郁 子	深 瀬 慶 太	鶴岡市立鶴岡第三中学校 ソフトテニス部
7	福 島	小 沼 武 時	二 階 堂 裕 之	会津球友会
8	茨 城	北 村 達 則	高 倉 理 美	水戸白友会
9	栃 木	大 塚 喜 直	澤 村 祐 毅	宇都宮ACEソフトテニスクラブ
10	群 馬	新 保 正	丸 山 博	碓氷安中ソフトテニスクラブ
11	埼 玉	佐 野 出	伊 藤 英 人	蕨市軟式庭球連盟
12	千 葉	松 丸 則 夫	寺 門 邦 夫	船橋ジュニアソフトテニスクラブ
13	東 京	石 坂 欣 也	浅 川 陽 介	稲門クラブ
14	神 奈 川	田 中 正 純	秋 山 千 代 子	金剛寺クラブ
15	山 梨	名 取 高	—	竜王クラブジュニア
16	新 潟	高 橋 静 子	和 田 喜 久 夫	上越ジュニアソフトテニスクラブ
17	長 野	—	—	長野工業高等専門学校 軟式庭球部
18	富 山	河 村 浩 志	津 里 斉	不二越
19	石 川	鹿 野 隆 史	守 崎 聖 大	小松市ソフトテニス協会
20	福 井	山 下 智 里	平 井 喜 浩	明新クラブ
21	静 岡	大 石 幸 男	漆 畑 勝 之	—
22	愛 知	岩 瀬 文 夫	中 根 治 美	豊田大谷高等学校
23	三 重	草 木 孝 宣	水 越 洋 介	小俣ソフトテニスクラブ
24	岐 阜	水 野 和 彦	水 野 和 美	岐阜県立岐阜商業高等学校 女子ソフトテニス部
25	滋 賀	明 河 賢	西 堀 正 範	立命館守山高等学校 ソフトテニス部
26	京 都	—	—	—
27	大 阪	深 江 信 弘	吉 崎 晋 弘	羽曳野市ソフトテニス連盟
28	兵 庫	家 中 亜 依	大 村 哲	兵庫県庁
29	奈 良	五 味 絹 代	紙 森 隆 弘	奈良県立奈良高等学校 ソフトテニス部
30	和 歌 山	古 賀 崇 文	—	和歌山市立加太中学校
31	鳥 取	阿 部 裕 平	安 東 健 司	米子松蔭高等学校 ソフトテニス部
32	島 根	矢 田 卓	—	邑南町立羽須美中学校 ソフトテニス部
33	岡 山	小 山 晃	杉 本 博 房	岡山県立倉敷工業高等学校 ソフトテニス部
34	広 島	加 茂 通 朗	小 川 繁 彦	フェニックス
35	山 口	為 久 保	中 野 恭	UBE
36	徳 島	中 山 立	二 條 達 治	徳島大学医学部 軟式テニス部
37	香 川	豊 岡 康 秀	—	—
38	愛 媛	片 岡 博 幸	—	済美高等学校 女子ソフトテニス部
39	高 知	森 原 茂 樹	山 下 由 香	—
40	福 岡	池 田 弘	木 下 春 喜	TOTO
41	佐 賀	池 田 建 夫	前 田 文 博	唐津市ソフトテニス協会
42	長 崎	本 田 親 隆	長 尾 和 弘	長島インターナショナルテニスクラブ
43	熊 本	中 原 裕 治	松 岡 正 之	—
44	大 分	藍 澤 昭 八	江 田 義 治	—
45	宮 崎	鮫 島 福 弘	岡 山 貴 美 子	—
46	鹿 児 島	宮 内 悦 子	大 園 奈 々 子	郡山クラブ
47	沖 縄	東 竜 一 郎	玉 城 則 子	—
48	日 本 学 連	小 山 哲	田 中 克 彦	—
49	高 体 連	足 立 真 一	柏 村 浩	尽誠学園高等学校 女子ソフトテニス部
50	中 体 連	高 橋 茂	吉 田 隆 昭	—
合 計		91名		40団体

(敬称略)

国 際 大 会 入 賞 者

第17回世界ソフトテニス選手権大会

1 国別対抗

優 勝

日本男子チーム

監 督：篠原 秀典 コーチ：増田 健人 トレーナー：兼平 智孝

選 手：上岡 俊介、丸山 海斗、上松 俊貴、船水 颯人、内田 理久、広岡 宙

マネージャー：川上 晃司

準 優 勝

日本女子チーム

監 督：佐藤 英宣 コーチ：三浦 洋美、菅野 創世 トレーナー：市山 裕梨

選 手：前川 愛生、宮前 希帆、天間 麗奈、前田 梨緒、高橋 乃綾、久保 晴華

マネージャー：川上 晃司

2 ミックスダブルス

準 優 勝

高橋 乃綾、上松 俊貴

3 男子シングルス

優 勝

上松 俊貴

4 男子ダブルス

第 3 位

上岡 俊介、丸山 海斗

5 女子ダブルス

準 優 勝

高橋 乃綾、久保 晴華

令和6年度
ランキング選手名簿

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟

令和6年度 ソフトテニスランキング

総 合 男 子				総 合 女 子			
1	船水 颯人	東京	稲 門 ク ラ ブ	1	天間 麗奈	宮城	東 北 高 校
	上松 俊貴	広島	N T T 西 日 本		宮前 希帆	日本学連	関 西 学 院 大 学
2	内本 隆文	広島	N T T 西 日 本	2	高橋 乃綾	広島	どんぐり北広島
	内田 理久				岩倉 彩佳		
3	上岡 俊介	京都	U p R i s e	3	前田 梨緒	日本学連	明 治 大 学
	丸山 海斗	大阪	o n e t e a m		中谷 さくら		
4	矢野 颯人	日本学連	早 稲 田 大 学	4	塚本 七海	広島	広 島 翔 洋 高 校
	端山 羅行				前川 愛生		
5	橋場 柊一郎	日本学連	法 政 大 学	5	長谷川 憂華	京都	ワタキューセイモ ア
	菊山 太陽				辻倉 奈津		
6	川崎 浩希	京都	ワタキューセイモ ア	6	天間 美嘉	日本学連	日 本 体 育 大 学
	山本 貴大				左近 知美		
6	広岡 宙	広島	N T T 西 日 本	7	小林 愛美	東京	ヨ ネ ッ ク ス
	長江 光一				吉田 滢奈		
8	安藤 優作	愛知	東 邦 ガ ス	8	矢野 亜日華	日本学連	神戸松蔭女子学院大 学
	安藤 圭祐				岩元 愛美		
9	片岡 暁紀	日本学連	日 本 体 育 大 学	8	福田 麗優	京都	ワタキューセイモ ア
	黒坂 卓矢				海老根 香澄		
10	米川 結翔	日本学連	明 治 大 学	8	久保田 茜	日本学連	國 學 院 大 學
	上田 泰大				原 千晴		
10	浅見 竣一朗	日本学連	早 稲 田 大 学				
	安達 宣						

令和6年度 ソフトテニスランキング

社 会 人 男 子				社 会 人 女 子			
1	広 岡 宙 長 江 光 一	広島	N T T 西 日 本	1	高 橋 乃 綾 岩 倉 彩 佳	広島	ど ん ぐ り 北 広 島
2	船 水 颯 人 上 松 俊 貴	東京 広島	稲 門 ク ラ ブ N T T 西 日 本	2	根 岸 楓 英 奈 佐 藤 日 香 莉	兵庫	東 芝 姫 路
3	安 藤 優 作 安 藤 圭 祐	愛知	東 邦 ガ ス	3	白 崎 ひ かる 大 友 紅 実	東京	ヨ ネ ッ ク ス
3	上 岡 俊 介 丸 山 海 斗	京都 大阪	Up Rise one team	3	小 林 愛 美 吉 田 滯 奈	東京	ヨ ネ ッ ク ス
5	仲 川 晴 智 大 友 駿	愛知	東 邦 ガ ス	5	福 田 麗 優 海 老 根 香 澄	京都	ワタキューセイモア
5	中 本 圭 哉 鈴 木 琢 巳	福井	福 井 県 庁	5	長 谷 川 憂 華 辻 倉 奈 津	京都	ワタキューセイモア
5	内 本 隆 文 内 田 理 久	広島	N T T 西 日 本	5	釘 本 友 梨 大 谷 実 友 子	京都 熊本	ワタキューセイモア 山 鹿 協 会
5	本 倉 健 太 郎 林 佑 太 郎	広島	N T T 西 日 本	5	坂 本 茉 梨 乃 那 須 暁 帆	愛知	ア ド マ テ ッ ク ス

男 子 3 5				女 子 3 5			
1	高 山 知 之 高 山 泰 英	石川	兼 六 ク ラ ブ	1	高 橋 和 恵 三 浦 洋 美	山形 群馬	山 形 市 役 所 P a l a i s t r a
2	真 柄 壮 太 郎 鬼 頭 貴 之	山口	UBE 山 口 教 員 ク ラ ブ	2	伊 佐 久 美 子 三 宅 一 美	東京	杉 並 文 化 ク ラ ブ 葛 飾 ク ラ ブ
3	関 戸 宏 憲 田 村 陽 寿 介	石川	能 美 ク ラ ブ	3	前 田 綾 子 諸 岡 敬 子	岡山	井原クラブ
4	曾 我 部 卓 司 濱 田 冬 威	兵庫 大阪	兵庫フレンドリークラブ 東 大 阪 市 協 会	3	吉 崎 香 奈 絵 谷 口 翔 子	京都	B - J O K E R クレインズクラブ

男 子 4 5				女 子 4 5			
1	岩 永 淳 奥 村 陸 矢	広島 福岡	N T T 西 日 本 中 国 綾 小 路 ク ラ ブ	1	矢 崎 美 穂 山 田 里 美	東京 茨城	杉 並 文 化 ク ラ ブ 勝 田 ク ラ ブ
2	矢 口 成 南 隆 行	東京	若 月 組 八 王 子 庭 球 ク ラ ブ	2	前 田 仁 美 花 園 安 紀	東京	三 鷹 軟 庭 ク ラ ブ 杉 並 文 化 ク ラ ブ
3	伊 藤 啓 司 谷 弘 樹	和歌山	維 吹	3	渡 邊 扶 佐 子 原 美 香	東京 神奈川	B L U E T A K A X 横 浜 P S C
3	高 島 務 岡 崎 孝 俊	東京 島根	世 田 谷 テ ニ ス お お な ん 福 祉 会	3	三 ツ 木 和 子 酒 井 貴 子	東京	ミ ド ウ ク ラ ブ B L U E T A K A X

シ ニ ア 男 子 5 0				シ ニ ア 女 子 5 0			
1	片 峯 俊 和 篠 原 和 彦	福岡	T O T O	1	寺 田 祥 子 成 田 扶 美 代	三重 大阪	五 十 鈴 ク ラ ブ K E N K O
2	今 村 義 美 石 井 靖 浩	香川 岡山	な か よ し ク ラ ブ E N E O S	2	矢 崎 美 穂 永 田 眞 由 美	東京 千葉	杉 並 文 化 ク ラ ブ 小 金 原 ク ラ ブ
3	杉 山 忍 豊 田 雅 孝	岡山 愛知	スフィードテニスクラブ 清須ソフトテニスクラブ	3	青 山 裕 子 原 美 香	奈良 神奈川	T ・ M ク ラ ブ 横 浜 P S C
3	北 野 敏 明 大 津 竜 二	大阪 愛知	堺ソフトテニス連盟 東 邦 ガ ス	3	大 高 さ お り 鈴 木 由 美 子	宮城	け や き ク ラ ブ

令和6年度 ソフトテニスランキング

シ ニ ア 男 子 5 5				シ ニ ア 女 子 5 5			
1	榎 本 武 男 坂 本 典 久	愛知 三重	刈 谷 ク ラ ブ 宇治山田高校OBクラブ	1	宮 尾 真 由 美 花 園 安 紀	埼玉 東京	所 沢 ペ ア ー ト 杉 並 文 化 ク ラ ブ
2	遠 藤 由 己 鶴 岡 弘	東京	江 戸 川 ク ラ ブ 赤 門 ク ラ ブ	2	村 岡 恵 子 佐 野 る り 子	東京	杉 並 文 化 ク ラ ブ
3	坂 直 樹 坂 敦 司	愛知	守 山 ク ラ ブ	3	渡 邊 由 佳 子 東 純 子	大阪 兵庫	R I S E 今 津 ク ラ ブ
3	高 橋 義 孝 小 河 徹	兵庫	東 灘 ク ラ ブ 神 戸 山 手 ク ラ ブ	3	菊 直 子 山 田 里 美	東京 茨城	武 蔵 村 山 支 部 勝 田 ク ラ ブ

シ ニ ア 男 子 6 0				シ ニ ア 女 子 6 0			
1	堀 越 晴 夫 千 野 一 也	東京	板 橋 俱 楽 部 た ち ば な ク ラ ブ	1	稲 田 次 美 中 尾 信 子	愛媛 大阪	愛媛県レディースソフトテニス協会 フ リ ー ク ラ ブ
2	小 林 和 義 増 田 隆 行	埼玉	桶 川 S T C さくらそうクラブ	2	今 村 由 美 子 谷 山 由 香 利	愛知	碧 南 S T C 豊田TeamYUKARI
3	熊 倉 高 志 丸 岡 昇 司	香川	若 水 ク ラ ブ	3	榎 本 弘 美 大 谷 美 佐	和歌山 徳島	L.C.C. 阿 南 ク ラ ブ
3	福 留 明 人 井 下 克 也	鹿児島 熊本	郡 山 ク ラ ブ 天 草	3	新 見 よ し の 林 厚 子	愛知	半 田 S T A

シ ニ ア 男 子 6 5				シ ニ ア 女 子 6 5			
1	篠 邊 保 石 川 雅 利	愛知 千葉	桜 田 ク ラ ブ 市 川 ク ラ ブ	1	大 久 保 祐 子 小 林 き み 子	埼玉	寄 居 か た くり ク ラ ブ 秩 父 COC ク ラ ブ
2	梶 原 茂 徳 磯 部 雅 宏	東京	J R 東 日 本 東 京 B L U E T A K A X	2	坂 見 美 和 子 清 水 さ か 忽	愛媛 千葉	愛媛アカエムクラブ 市 原 ド リ ー ム
3	杉 野 徹 也 新 開 均	大阪 徳島	吹 田 ク ラ ブ 永 遠 ク ラ ブ	3	青 木 は な 子 犬 養 久 子	埼玉	川 口 ク ラ ブ 岩 槻 す み れ ク ラ ブ
3	藤 岡 良 明 山 本 幸 輝	奈良	シ ャ ー プ	3	益 子 益 代 小 野 寺 真 智 子	茨城 宮城	日 立 は ま ゆ う ク ラ ブ け や き ク ラ ブ

シ ニ ア 男 子 7 0				シ ニ ア 女 子 7 0			
1	堤 下 昇 吉 岡 憲 二	大阪 埼玉	大 阪 O B 軟 庭 会 浦 和 あ づ ま ク ラ ブ	1	中 田 三 千 恵 藤 原 芳 子	東京	朝 日 生 命 ク ラ ブ 府 中 ソ フ ト
2	高 原 一 郎 小 早 川 卓 也	大阪 奈良	八 尾 市 S T A 檀 原 ソ フ ト テ ニ ス	2	尾 張 由 美 岩 原 慶 子	愛知	岡 崎 レ デ ィ ー ス
3	永 井 良 一 阿 部 俊 男	茨城	茨 城 県 庁 牛 久 ク ラ ブ	3	高 橋 道 子 市 川 富 子	埼玉 神奈川	所 沢 ペ ア ー ト テ ニ ス ク ラ ブ 横 浜 レ デ ィ ー ス
3	村 田 則 夫 小 林 長 利	埼玉 千葉	浦 和 あ づ ま 野 田 東 部 テ ニ ス 同 好 会	3	柳 井 芳 江 宮 越 由 美 子	群馬 埼玉	桐 生 ク ラ ブ 川 口 ク ラ ブ

シ ニ ア 男 子 7 5				シ ニ ア 女 子 7 5			
1	高 橋 良 一 宮 崎 敏 行	神奈川	JFE鉄友会 大 和 庭 友 会	1	木 暮 道 子 中 谷 順 子	埼玉	天 沼 フ ァ ミ リ ー 所 沢 ペ ア ー ト テ ニ ス ク ラ ブ
2	小 野 栄 袴 田 文 雄	埼玉 秋田	NEXTクラブ 能 代 市 協 会	2	植 山 正 子 大 畑 政 子	埼玉	浦 和 け や き ク ラ ブ 鴻 巣 レ デ ィ ス
3	木 藤 勝 敏 豊 福 尚 弘	大阪 佐賀	大 阪 O B 軟 庭 会 上 峰 ク ラ ブ	3	中 澤 富 士 子 中 野 喜 代 江	埼玉	深 谷 ラ リ ー 浦 和 け や き ク ラ ブ
3	山 田 登 喜 男 杉 崎 静 雄	東京	team 梶	3	天 明 裕 美 子 比 嘉 ふ み 代	東京	大 田 支 部 チ ー ム N A R O

令和6年度 ソフトテニスランキング

シ ニ ア 男 子 8 0				シ ニ ア 女 子 8 0			
1	前 原 邦 生 大 野 太 郎	神奈川	茅ヶ崎クラブ ひまわりスポーツクラブ	1	山 田 悦 子 高 羽 邦 子	大阪	東 大 阪 ア ミ ー 堺 ミ ル フ ィ ー ズ
2	小 松 代 智 夫 藤 沼 宣 弘	東京 栃木	旭 テ ニ ス 宝 木 ク ラ ブ	2	松 本 幸 子 百 瀬 正 子	埼玉 群馬	深 谷 グ リ ー ン ク ラ ブ 高 崎 中 央 ク ラ ブ
3	高 橋 邦 彦 岩 島 典 男	埼玉 千葉	上 福 岡 ク ラ ブ 中 台 ク ラ ブ	3	河 合 か つ 中 山 徳 美	愛知 奈良	豊 川 協 会 奈 良 ク ラ ブ
3	木 本 有 信 蟹 江 厚 佑	岐阜 愛知	ソフトテニス土曜会 フ リ ー	3	田 中 光 子 稲 垣 節 子	愛知	葵 ク ラ ブ

ミ ッ ク ス ダ ブ ル ス ー 般			
1	上 松 俊 貴 前 田 梨 緒	広島 日本学連	N T T 西 日 本 明 治 大 学
2	上 岡 俊 介 久 保 晴 華	京都 東京	Up Rise ナ ガ セ ケ ン コ ー
3	内 本 隆 文 吉 田 滯 奈	広島 東京	N T T 西 日 本 ヨ ネ ッ ク ス
3	船 水 颯 人 中 谷 さ くら	東京 日本学連	稲 門 ク ラ ブ 明 治 大 学
5	丸 山 海 斗 高 橋 乃 綾	大阪 広島	one team ど ん ぐ り 北 広 島
5	高 橋 偲 黒 坂 卓 矢	広島 日本学連	ど ん ぐ り 北 広 島 日 本 体 育 大 学
5	広 岡 宙 浪 岡 菜 ャ 美	広島 東京	N T T 西 日 本 ナ ガ セ ケ ン コ ー
5	長 谷 川 憂 華 池 口 季 将	京都	ワタキューセイモア

ミ ッ ク ス ダ ブ ル ス 3 5				ミ ッ ク ス ダ ブ ル ス 4 5			
1	吉 田 里 冴 山 崎 智 彦	福岡 佐賀	スポーツアイランド 鳥 栖 ク ラ ブ	1	福 田 江 里 子 奥 村 陸 矢	福岡	久 留 米 ク ラ ブ 綾 小 路 ク ラ ブ
2	花 田 直 弥 三 浦 洋 美	京都 群馬	京 都 市 役 所 P a l a i s t r a	2	石 森 慶 哉 堂 上 真 由 子	宮城 神奈川	K E I S P O R T S せ せ ら ぎ ク ラ ブ
3	古 賀 崇 史 山 本 香 織	和歌山 北海道	M O N O L I T H S A K U R A S T S	3	久 保 陽 子 谷 弘 樹	和歌山	維 吹
3	麻 生 ま ゆ 金 子 裕 亮	愛知 東京	葵 ク ラ ブ ミ ド ウ ク ラ ブ	3	小 山 慎 二 三 宅 一 美	東京	小 平 ク ラ ブ 葛 飾 ク ラ ブ

ミ ッ ク ス ダ ブ ル ス 5 0				ミ ッ ク ス ダ ブ ル ス 5 5			
1	北 野 敏 明 小 谷 麻 紀	大阪	堺 連 盟 箕 面 サ ン グ リ ー ン	1	花 園 安 紀 濱 田 英 明	東京	杉 並 文 化 ク ラ ブ 練 馬
2	柏 木 恵 太 成 田 扶 美 代	大阪	タ フ マ ン ズ K E N K O	2	宮 尾 真 由 美 堀 越 晴 夫	埼玉 東京	所 沢 ペ ア ー ト ク ラ ブ 板 橋 倶 楽 部
3	加 藤 典 子 箕 河 原 新	愛知	岡 崎 バ ー ド ト ヨ タ 車 体	3	榎 本 武 男 佐 ャ 木 あ ゆ み	愛知	刈 谷 ク ラ ブ 岡 崎 バ ー ド
3	今 村 義 美 寺 田 祥 子	香川 三重	な か よ し ク ラ ブ 五 十 鈴 ク ラ ブ	3	山 田 尚 人 山 田 里 美	茨城	勝 田 ク ラ ブ

令和6年度 ソフトテニスランキング

ミ ッ ク ス ダ ブ ル ス 6 0				ミ ッ ク ス ダ ブ ル ス 6 5			
1	千 野 一 也 鈴 木 節 子	東京	たちばなクラブ 日 亜 化 学	1	新 開 均 伴 戸 明 己	徳島 北海道	永 遠 ク ラ ブ 札 幌 白 石 ク ラ ブ
2	小 林 和 義 中 山 広 子	埼玉	桶 川 S T C さいたまドリームクラブ	2	神 野 弓 子 山 本 幸 輝	愛知 奈良	す み れ ク ラ ブ シャ ー プ ク ラ ブ
3	鈴 木 明 美 松 本 宣 博	埼玉 熊本	川 口 ク ラ ブ 宇 土 ク ラ ブ	3	片 山 栄 二 郎 松 本 厚 子	岡山	粒 江 ク ラ ブ 高 梁 協 会
3	萩 原 由 美 大 野 勝 敏	東京 埼玉	杉 並 文 化 ク ラ ブ 浦 和 ファミリークラブ	3	武 士 典 央 菅 井 洋 子	東京 千葉	江 戸 川 ク ラ ブ 明 日 香 ク ラ ブ

ミ ッ ク ス ダ ブ ル ス 7 0			
1	高 原 一 郎 増 田 加 奈	大阪 愛知	八 尾 協 会 岡 崎 バ ー ド ク ラ ブ
2	細 野 敦 子 大 嶋 良 弥	岐阜	大 垣 早 起 き ク ラ ブ 多 治 見 ク ラ ブ
3	伊 藤 節 子 鍋 岡 茂	愛知	葵 ク ラ ブ 岡 崎 壮 年 ク ラ ブ
3	山 本 明 美 上 野 敏	福岡	福 岡 ク ラ ブ

ジュニアシングルス U - 14 男 子				ジュニアシングルス U - 14 女 子			
1	丹 羽 悠 弦	愛知	朝 日 中 学 校	1	吉 田 唯 杏	福島	西 郷 第 一 中 学 校
2	田 中 暖 人	愛知	朝 日 中 学 校	2	大 武 姫 菜	福島	西 袋 中 学 校
3	宇 田 川 成 寿	東京	清 明 学 園 中 学 校	3	浅 野 琉 愛	宮城	北 仙 台 中 学 校
3	鈴 木 佐 禄	栃木	野 木 中 学 校	3	古 川 夢 望	大分	明 豊 中 学 校

ジュニアシングルス U - 17 男 子				ジュニアシングルス U - 17 女 子			
1	植 田 璃 音	奈良	高 田 商 業 高 校	1	天 間 麗 奈	宮城	東 北 高 校
2	南 龍 之 介	三重	三 重 高 校	2	塚 本 七 海	広島	広 島 翔 洋 高 校
3	水 木 洸	宮城	東 北 高 校	3	前 川 愛 生	広島	広 島 翔 洋 高 校
3	草 野 春 真	福島	田 村 高 校	3	宮 本 絢 菜	福島	学 法 石 川 高 校

ジュニアシングルス U - 20 男 子				ジュニアシングルス U - 20 女 子			
1	橋 場 柊 一 郎	日本学連	法 政 大 学	1	佐 藤 心 美	日本学連	早 稲 田 大 学
2	坂 口 生 磨	香川	尽 誠 学 園 高 校	2	吉 木 理 彩	日本学連	日 本 体 育 大 学
3	齋 藤 玲 壺	宮城	東 北 高 校	3	大 野 栞	日本学連	明 治 大 学
3	昼 間 悠 佑	千葉	木 更 津 総 合 高 校	3	柴 田 凜	岡山	就 実 高 校

ジュニアダブルス U - 14 男 子				ジュニアダブルス U - 14 女 子			
1	鈴 木 佐 禄 別 符 湊 都	栃木	野 木 中 学 校	1	玉 川 ひ かり 浅 野 琉 愛	宮城	北 仙 台 中 学 校
2	東 郷 翔 太 岡 部 蓮	奈良	王 寺 ユ ー ス ク ラ ブ	2	吉 田 唯 杏 古 川 夢 望	福島 大分	西 郷 第 一 中 学 校 明 豊 中 学 校
3	眞 崎 哲 平 勝 村 蒼 空	奈良	王 寺 ジュニアクラブ	3	岡 島 明 日 奈 鈴 木 陽 菜	奈良	ニ ュ ー ウ イ ン ズ ク ラ ブ
3	田 中 暖 人 丹 羽 悠 弦	愛知	朝 日 中 学 校	3	大 武 姫 菜 大 武 夢 菜	福島	西 袋 中 学 校

令和6年度 ソフトテニスランキング

ジュニアダブルス U - 17 男子				ジュニアダブルス U - 17 女子			
1	南 龍之介 竹内 慶悟	三重	三 重 高 校	1	天 間 麗奈 山口 優菜	宮城 宮崎	東 北 高 校 宮 崎 商 業 高 校
2	水 木 洸 松田 挙弥	宮城	東 北 高 校	2	柏 春 花 村上 芹	宮城	東 北 高 校
3	荻 谷 侑磨 福田 喜大	奈良 大阪	高 田 商 業 高 校 上 宮 高 校	3	塚 本 七海 前川 愛生	広島	広 島 翔 洋 高 校
3	前 田 蒼生 石田 夏稀	兵庫	姫路ふぁみりークラブ	3	野 間 結菜 宮下 日香莉	大阪 石川	昇 陽 高 校 能 登 高 校

ジュニアダブルス U - 20 男子				ジュニアダブルス U - 20 女子			
1	野 本 凌生 黒坂 卓矢	日本学連	法 政 大 学 日 本 体 育 大 学	1	中 谷 さくら 前田 梨緒	日本学連	明 治 大 学
2	根 岸 滯紋 中尾 彦斗	日本学連	日 本 体 育 大 学 中 央 大 学	2	天 間 美嘉 大野 栞	日本学連	日 本 体 育 大 学 明 治 大 学
3	浅 見 竣一朗 安達 宣	日本学連	早 稲 田 大 学	3	佐 藤 日香莉 高橋 ひかる	兵庫 日本学連	東 芝 姫 路 日 本 体 育 大 学
3	橋 場 柊一郎 菊山 太陽	日本学連	法 政 大 学	3	本 間 友里那 杉本 希	日本学連 東京	神戸松蔭女子学院大学 ヨ ネ ッ ク ス

男 子 シ ン グ ル ス				女 子 シ ン グ ル ス			
1	上 松 俊貴	広島	N T T 西 日 本	1	天 間 麗奈	宮城	東 北 高 校
2	船 水 颯人	東京	稲 門 ク ラ ブ	2	前川 愛生	広島	広 島 翔 洋 高 校
3	内 田 理久	広島	N T T 西 日 本	3	黒 木 夏穂	鹿児島	SHIROYAMA HOTEL kagoshima
3	橋 場 柊一郎	日本学連	法 政 大 学	3	宮 前 希帆	日本学連	関 西 学 院 大 学
5	米 川 結翔	日本学連	明 治 大 学	5	高 橋 乃綾	広島	ど ん ぐ り 北 広 島
5	上 岡 俊介	京都	Up Rise	5	大 野 栞	日本学連	明 治 大 学
5	広 岡 宙	広島	N T T 西 日 本	5	本 間 友里那	日本学連	神戸松蔭女子学院大学
5	丸 山 海斗	大阪	one team	5	那 須 暁帆	愛知	ア ド マ テ ッ ク ス

大 学 男 子				大 学 女 子			
1	橋 場 柊一郎 菊山 太陽	日本学連	法 政 大 学	1	久 保 田 茜 原 千晴	日本学連	國 學 院 大 學
2	浅 見 竣一朗 安達 宣	日本学連	早 稲 田 大 学	2	前田 梨緒 中谷 さくら	日本学連	明 治 大 学
3	矢 野 颯人 端山 羅行	日本学連	早 稲 田 大 学	3	天 間 美嘉 左近 知美	日本学連	日 本 体 育 大 学
3	片 岡 暁紀 黒坂 卓矢	日本学連	日 本 体 育 大 学	3	寺 澤 佑珠妃 相原 愛	日本学連	國 學 院 大 學
5	四 位 光太 津島 青空	日本学連	日 本 体 育 大 学	5	岡 田 采華 逸見 真子	日本学連	四 国 大 学
5	武 市 大輝 中尾 彦斗	日本学連	中 央 大 学	5	岩 元 望美 本間 友里那	日本学連	神戸松蔭女子学院大学
5	濱 田 祐 高田 翼	日本学連	中 央 大 学	5	江 口 咲礼紗 川口 真歩	日本学連	関 西 大 学
5	米 川 結翔 上田 泰大	日本学連	明 治 大 学	5	清 水 美海 山口 梨々香	日本学連	神戸松蔭女子学院大学

令和6年度 ソフトテニスランキング

高 校 男 子				高 校 女 子			
1	川崎 康平 森 良輔	宮崎	都城商業高校	1	塚本 七海 前川 愛生	広島	広島翔洋高校
2	一ノ宮 大和 善福 留生	茨城	霞ヶ浦高校	2	柴田 凜 山本 萌衣紗	岡山	就実高校
3	植田 璃音 結城 琉衣	奈良	高田商業高校	3	宮本 絢菜 久保田 笑心	福島	学法石川高校
3	水木 洸 松田 挙弥	宮城	東北高校	3	螺良 寧々 富山 鈴香	栃木	白鷗大足利高校
5	坂口 生磨 小山 寛晴	香川	尽誠学園高校	5	大野 真里七 濱田 遥花	香川	尽誠学園高校
5	丹羽 奏人 香山 侑月	愛知	岡崎城西高校	5	原 綾那 西村 ひよ	京都	京都光華高校
5	齋藤 玲壱 國松 樹人	宮城	東北高校	5	柏 春花 村上 芹	宮城	東北高校
5	相山 昂慧 吉田 拓翔	福島	田村高校	5	藤井 心愛 阿部 日南	宮城	東北高校
9	三上 柊二 平井 啓吾	大阪	上宮高校	9	佐藤 光 畠山 真碧	青森	八戸工大一高校
9	遠藤 海斗 松村 泰成	千葉	木更津総合高校	9	石垣 陽菜 藤岡 七星	北海道	札幌龍谷高校
9	細川 大峨 上門 幹武	沖縄	那覇西高校	9	西村 優那 黒沢 朋花	広島	広島翔洋高校
9	高橋 憐依 高澤 颯	新潟	北越高校	9	房野 紗千 市川 こいと	大阪	四天王寺高校
9	飯降 脩 荻谷 侑磨	奈良	高田商業高校	9	岩隈 彩乃 安保 陽菜子	福岡	中村学園女子高校
9	村井 晋之介 福井 優斗	滋賀	立命館守山高校	9	佐久間 結愛 富永 紗妃	東京	文大杉並高校
9	藤木 晴叶 中山 煌貴	石川	能登高校	9	仲倉 理緒 松原 一葉	鳥取	米子松蔭高校
9	南 龍之介 竹内 慶悟	三重	三重高校	9	仲村 早百合 近坂 優衣	岡山	就実高校

令和6年度 ソフトテニスランキング

中 学 男 子				中 学 女 子			
1	野 田 悠 貴 林 田 遼 太 郎	東京	清 明 学 園 中 学 校	1	浅 井 優 里 起 田 亜 旺	愛知	植 田 中 学 校
2	前 田 蒼 生 石 田 夏 稀	兵庫	姫路ふぁみりークラブ	2	中 山 萌 五 十 畑 咲 和	埼玉	松 山 中 学 校
3	杉 碧 翔 利 根 川 碧 生	埼玉	松 山 中 学 校	3	鍛 冶 田 芽 依 高 田 美 滴	奈良	奈 良 ま ほ ろ ば ク ラ ブ
3	保 海 郁 弥 山 田 健 太 郎	滋賀	朝 桜 中 学 校	3	根 岸 ゆ ず 高 林 さ く ら	埼玉	秩 父 第 一 中 学 校
5	常 包 匠 紀 六 車 旺 雅	香川	牟 礼 中 学 校	5	玉 川 ひ か り 浅 野 琉 愛	宮城	北 仙 台 中 学 校
5	木 原 祐 翔 奥 田 向 陽	埼玉	上 青 木 中 学 校	5	濱 岡 理 愛 石 本 陽 菜	兵庫	姫路ふぁみりークラブ
5	近 藤 伶 音 齋 藤 亘	静岡	静岡大附島田中学校	5	大 星 心 愛 早 藤 杏 樹	京都	京 都 光 華 中 学 校
5	小 沼 優 希 宇 田 川 成 寿	東京	清 明 学 園 中 学 校	5	裏 詩 音 濱 中 彩 桜	奈良	奈 良 L E G E N D S

小 学 男 子				小 学 女 子			
1	井 橋 瑛 大 笹 原 太 陽	東京	FSTA	1	岡 島 明 日 奈 鈴 木 陽 菜	奈良	ニューウインズクラブ
2	前 場 朔 桑 野 寛 太	福岡	男 塾 ジ ュ ニ ア Shingu-Jst	2	土 橋 咲 愛 松 本 結 星	奈良	T.Mクラブ
3	八 重 樫 琉 映 菅 原 志 馬	宮城	長 命 ヶ 丘 JST	3	小 山 瑠 美 筒 木 瑛	滋賀	大 津 ジ ュ ニ ア ク ラ ブ 蒲 生 ス ポ ー ツ 少
3	鈴 木 大 雅 小 松 崎 翔 空	茨城	常 陸 太 田 ス ポ 少	3	榎 本 好 華 渡 辺 千 夏	岐阜	大 垣 市 少 年 団 多 治 見 ジ ュ ニ ア
5	眞 崎 哲 平 勝 村 蒼 空	奈良	王 寺 ジ ュ ニ ア ク ラ ブ	5	鳥 越 紗 奈 安 藤 友 唯	岡山	倉 敷 ジ ュ ニ ア
5	那 知 上 晟 生 吉 田 純 一 郎	奈良	T.Mクラブ	5	松 上 と も か 工 藤 那 南	和歌山	田 辺 STC
5	千 葉 柊 真 佐 久 間 瑛 士 朗	愛知	東 郷 ア イ リ ス 田 原 STA	5	中 田 蘭 來 澤 井 美 空	大阪	堺 市 ス ポ 少
5	川 畑 恵 太 村 中 蒼 唯	宮崎	清 武 ジ ュ ニ ア	5	山 中 咲 季 山 下 紗 奈	和歌山	田 辺 STC

《別冊》

役員・職員等に関する名簿

令和7年3月31日現在

【名誉会長・名誉副会長・顧問・参与】

〔顧問〕	笠井 達夫	北村 和久	小原 信幸	西村 信寛	本田 茂雄
	津田 誠	井上 清一	星野 博 ※	萬 正一 ※	神崎 公宏 ※
〔参与〕	重田 衛	星 久美	水野 明人	米山 勉	田淵 光仁
	川島 登	丹崎 健一	中山 昌作	西田 豊明	宮下 恭子
	柳下 秋久	山本 毅	石川 雅利	木原 晴彦	川西 斎
	白水 厚二	野際 照章	安藤 正美 ※	篠邊 保 ※	山下 晴海 ※
	斉藤 元三 ※				

※ 令和6年7月12日就任

【理事・監事】① 任期:令和6(2024)年定時評議員会終結時まで

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	安道 光二	理 事	加藤 石根
副 会 長	星野 博		篠邊 保
副 会 長	萬 正一		高井 志保
副 会 長	神崎 公宏		田村 憲司
専務理事	佐藤 健司		當瀬 純一
常務理事	安藤 正美		浪岡 正行
	運上 琢論		額賀 富雄
	加藤 育広		森田 賢二
理 事	足立 真一		山下 晴海
	井上 光子		和歌浦 京子
	大房 裕司※ 菊間路人	監 事	斉藤 元三
	大前 秀樹		宮田 勤
	越智 朗		久保村 康史

※令和5年6月25日定時評議員会まで

【理事・監事】② 任期:令和6(2024)年6月23日より令和8(2026)年6月定時評議員会終結時まで

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	安道 光二	理 事	高井 志保
副 会 長	大島 洋子		高野 健二
副 会 長	清水 諭		谷岡 美貴
専務理事	佐藤 健司		額賀 富雄
常務理事	運上 琢論		原口 増美
	加藤 育広		堀越 浩
	蛭田 香名子		増木 博一
理 事	大前 秀樹		森田 賢二
	笠原 亜希子		山本 悦子
	加藤 石根		横田 南
	川添 圭子	監 事	久保村 康史
	菊間 路人		内田 裕行
	鈴木 美妃		吉田 博紀

【評議員】① 任期:令和6(2024)年定時評議員会終結時まで

氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属
五十嵐 象平	北海道	新保 俊彦	青森	山田 雅宏	岩手
松田 孝志	宮城	東海林 裕晴	秋田	柏倉 達雄	山形
小野間 幸一	福島	安藤 敏之	茨城	木所 一典	栃木
佐藤 栄一	群馬	中村 進	埼玉	堀越 浩	千葉
横山 隆二	東京	鈴木 敏雄	神奈川	米山 隆	山梨
坂井 真琴	新潟	跡部 享	長野	山口 崇和	富山
四家 幸夫	石川	川畑 茂	福井	小林 正	静岡
大津 竜二	愛知	天野 晴夫	三重	加藤 茂	岐阜
二矢 清孝	滋賀	増木 博一	京都	友谷 往弘	大阪
川上 博	兵庫	西森 卓也	奈良	花田 一弥	和歌山
池本 正紀	鳥取	大地本 一到	島根	吉田 敏彦	岡山
田中 和雄	広島	福田 光正	山口	毛利 喜信	徳島
荒井 隆	香川	天野 裕	愛媛	川島 祥嗣	高知
高井 英生	福岡	中島 哲男	佐賀	金子 正剛	長崎
岩下 敏和	熊本	大平 雅哉	大分	平原 幸典	宮崎
加藤 秀俊	鹿児島	宮城 正彦	沖縄	清水 諭	日本学連
石岡 重光	高体連	上田 竜次	中体連		

【顧問弁護士】 T M I 総合法律事務所

【公認会計士】 櫻井 資悦 氏

【税理士】 加藤 貴大 氏 (税理士法人みなと財務)

【評議員】② 任期:令和8(2026)年定時評議員会終結時まで

氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属
五十嵐 象平	北海道	工藤 聡子	青森	山田 雅宏	岩手
松田 孝志	宮城	東海林 裕晴	秋田	柏倉 達雄	山形
小野間 幸一	福島	安藤 敏之	茨城	木所 一典	栃木
佐藤 栄一	群馬	中村 進	埼玉	鈴木 敏行	千葉
横山 隆二	東京	鈴木 敏雄	神奈川	米山 隆	山梨
坂井 真琴	新潟	跡部 享	長野	山口 崇和	富山
永井 茂樹	石川	川畑 茂	福井	小林 正 ※ 漆畑 勝之	静岡
大津 竜二	愛知	柑子木 茂之	三重	加藤 茂	岐阜
二矢 清孝	滋賀	橋本 康德	京都	友谷 往弘	大阪
川上 博	兵庫	西森 卓也	奈良	吉川 豊	和歌山
池本 正紀	鳥取	大地本 一到	島根	吉田 敏彦	岡山
田中 和雄	広島	福田 光正	山口	毛利 喜信	徳島
荒井 隆	香川	天野 裕	愛媛	川島 祥嗣	高知
高井 英生	福岡	佐伯 善春	佐賀	金子 正剛	長崎
岩下 敏和	熊本	塚田 清隆	大分	當瀬 純一	宮崎
加藤 秀俊	鹿児島	宮城 正彦	沖縄	岩脇 真二	日本学連
石岡 重光	高体連	上田 竜次	中体連		

※1 令和7(2025)年2月16日定時評議員会まで

【顧問弁護士】 TMI 総合法律事務所
 【公認会計士】 櫻井 資悦 氏
 【税理士】 加藤 貴大 氏 (税理士法人みなと財務)

【専門委員会・部会】① 任期:令和6年6月定時評議員会終結時まで

委員会・部会		職	氏名	所属
総務委員会		委員長	運上 琢諭	北海道
		副委員長	大地本 一到	島根
		委員	加藤 石根	東京
		委員	天野 晴夫	三重
		委員	蒲原 英敏	広島
		委員	牧野 伸一	京都
企画委員会		委員長	加藤 育広	秋田
		副委員長	清水 諭	茨城
		委員	大野 勝敏	埼玉
		委員	星 祥子	千葉
		委員	田中 剛	東京
		委員	中野 吉広	東京
		委員	脇田 愛	神奈川
		委員	香川 翔	香川
財務委員会		委員長	加藤 石根	東京
		副委員長	天野 晴夫	三重
		委員	多田 光廣	香川
		委員	小川 信也	岐阜
		委員	川島 登	福島
		委員	栗原 博	埼玉
	財政再建・スポンサー獲得部会	部会長	浪岡 正行	岩手
		副部会長	越智 朗	愛媛
		委員	加藤 石根	東京
		委員	天野 晴夫	三重
		委員	川島 登	福島
		委員	栗原 博	埼玉
審判委員会		委員長	越智 朗	愛媛
		副委員長	増木 博一	京都
		委員	牧 壮一	愛知
		委員	佐藤 鉄太郎	宮城
		委員	片岡 勝	青森
		委員	木下 道夫	東京
		委員	阿部 一臣	東京
		委員	川島 裕和	石川
		委員	小田 宗雄	熊本
		委員	佐藤 敬治	岡山
		委員	蒲原 英敏	広島
競技委員会		委員長	安藤 正美	香川
		副委員長	堀越 浩	千葉
		委員	岩下 敏和	熊本
		委員	吉田 茂	福島
		委員	大津 竜二	愛知

		委員	小野 道康	新潟
		委員	成田 扶美代	大阪
		委員	吉田 敏彦	岡山
		委員	正岡 義晶	愛媛
	等級制度部会	部会長	岡村 勝幸	山梨
		副部会長	當瀬 純一	宮崎
		委員	荒井 隆	香川
		委員	鈴木 敏雄	神奈川
		委員	小脇 静香	千葉
	プログラム編成部会	部会長	木所 一典	栃木
		副部会長	額賀 富雄	茨城
		アドバイザー	長岡 敏久	埼玉
		委員	中野 吉広	東京
		委員	山口 眞護	東京
		委員	東海林 裕晴	秋田
		委員	芝地 康幸	兵庫
		委員	西木 宏	徳島
		委員	安達 和紀	鳥取
		委員	小野 道康	新潟
		委員	天野 晴夫	三重
		委員	石坂 欣也	東京
		委員	織原 真由美	東京
		委員	川口 さつき	東京
		委員	成島 厚子	東京
		委員	井上 まゆ美	東京
		委員	三ツ木 和子	東京
		委員	沼尻 順子	東京
	強化委員会	委員長	高井 志保	大阪
		副委員長	小野寺 剛	東京
		アドバイザー	神崎 公宏	三重
		委員	篠邊 保	愛知
		委員	北本 英幸	石川
		委員	斉藤 広宣	千葉
		委員	中堀 成生	広島
		委員	篠原 秀典	東京
		委員	川上 晃司	兵庫
	強化スタッフ部会	部会長	斉藤 広宣	千葉
		副部会長	高井 志保	石川
		委員	篠原 秀典	東京
		委員	佐藤 英宣	愛知
		委員	増田 健人	和歌山
		委員	三浦 洋美	群馬
		委員	紙森 隆弘	奈良
		委員	伊加 英隆	香川

		委員	堀 晃大	広島
		委員	高橋 茂	東京
		委員	合田 清志	京都
		委員	松崎 法夫	福島
	競技者育成プログラム部会	部会長	篠邊 保	愛知
		副部会長	井上 創	兵庫
		委員	足立 真一	静岡
		委員	大房 裕司	東京
		委員	井上 光子	千葉
		委員	白幡 光	山形
		委員	安達 和紀	鳥取
		委員	松浦 誠	宮崎
		委員	小林 幸司	東京
		委員	岡村 勝幸	山梨
		委員	林 三千夫	和歌山
		委員	千葉 英明	宮城
		委員	關 直樹	埼玉
		委員	小峯 秋二	富山
		委員	天野 晴夫	三重
		委員	溝渕 俊二	和歌山
		委員	手嶋 信彦	広島
		委員	越智 克昌	愛媛
		委員	岩下 敏和	熊本
指導者育成委員会		委員長	篠邊 保	愛知
		副委員長	井田 博史	東京
		委員	小野寺 剛	東京
		委員	松口 友也	神奈川
		委員	浅川 陽介	東京
		委員	中本 裕二	広島
		委員	東海林 裕晴	秋田
		委員	大野 勝敏	埼玉
		委員	畑 瑠璃華	東京
生涯スポーツ委員会		委員長	額賀 富雄	茨城
		副委員長	和歌浦 京子	新潟
		委員	加藤 勉	栃木
		委員	椎名 顕子	愛媛
		委員	普天間 富士子	沖縄
	小学生部会	部会長	長岡 敏久	埼玉
		副部会長	和歌浦 京子	新潟
		委員	廣島 義清	北海道
		委員	小向 勝利	青森
		委員	花園 安紀	東京
		委員	新嶋 佐知子	群馬
		委員	友谷 往弘	大阪

		委員	宇野 一行	愛媛
		委員	渡瀬 義正	静岡
		委員	畠山 洋二	広島
		委員	中村 正広	福岡
	シニア部会	部会長	當瀬 純一	宮崎
		副部会長	和歌浦 京子	新潟
		委員	鍵 茂	宮城
		委員	石川 雅利	千葉
広報委員会		委員長	山下 晴海	埼玉
		副委員長	たむら けんじ	兵庫
		委員	工藤 聡子	青森
		委員	萩原 廣一	神奈川
		委員	上野 渉	石川
		委員	斎藤 啓祐	愛知
		委員	田中 和雄	広島
		委員	清水 直也	広島
		委員	手嶋 良介	佐賀
		委員	手嶋 良介	佐賀
	機関誌部会	部会長	井上 光子	千葉
		副部会長	たむら けんじ	兵庫
		委員	臼田 弘	千葉
		委員	古川 忠志	千葉
		委員	近藤 貴予	東京
		委員	鬼束 二三江	神奈川
		委員	原 美香	神奈川
		委員	井上 まゆ美	東京
		委員	井上 まゆ美	東京
		委員	井上 まゆ美	東京
会員登録委員会		委員長	浪岡 正行	岩手
		副委員長	森田 賢二	兵庫
		委員	たむら けんじ	兵庫
		委員	鳥羽 敬子	三重
		委員	松田 孝志	宮城
	中学生部会	部会長	大房 裕司	東京
		副部会長	高橋 茂	東京
		委員	足立 真一	静岡
		委員	木所 一典	栃木
		委員	安藤 正視	東京
		委員	香川 翔	香川
	高校生部会	部会長	足立 真一	静岡
		副部会長	大槻 範和	長崎
		委員	石岡 重光	京都
		委員	根本 光泰	宮城
		委員	榎並 紳吉	東京
		委員	下和田 貴之	東京
	大学生部会	部会長	山下 晴海	埼玉
		副部会長	小峯 秋二	富山

国際委員会		委員	小野寺 剛	東京
		委員	篠原 秀典	東京
		委員	村山 孝之	石川
		委員長	玉木 進	東京
		副委員長	浪岡 正行	岩手
		委員	大野 勝敏	埼玉
		委員	中本 裕二	広島
		委員	橋本 茂樹	東京
		委員	神戸 博幸	埼玉
		委員	山岸 慎司	東京
		委員	関川 丈彦	新潟
		委員	蒲原 英敏	広島
		委員	中道 大輔	京都
		委員	井田 博史	東京
		委員	小林 琢磨	愛媛
		委員	富永 陽	東京
		委員	野際 照章	京都
	オリンピック参入推進部会	部会長	加藤 育広	秋田
		副部会長	玉木 進	東京
		委員	小峯 秋二	富山
		委員	清水 論	茨城
		委員	脇田 愛	神奈川
		委員	星 祥子	千葉
		委員	橋本 茂樹	東京
		委員	笠原 亜希子	石川
医科学委員会		委員長	井田 博史	東京
		副委員長	森田 賢二	兵庫
		委員	守重 昌彦	東京
		委員	藤島 淑子	神奈川
		委員	川上 晃司	兵庫
	医学部会	部会長	守重 昌彦	東京
		副部会長	越智 朗	愛媛
		委員	出家 正隆	愛知
		委員	藤島 淑子	神奈川
		委員	梶山 祥子	広島
		委員	山田 隆	東京
		委員	目加田 優子	東京
		委員	今井 愛	神奈川
		委員	藤本 陽	静岡
		委員	國友 耕太郎	熊本
		委員	植田 由依	千葉
		委員	小久保 友貴	愛知
		委員	江夏 元揚	東京
		委員	檜木 治	東京

	アンチ・ドーピング部会	部会長	藤島 淑子	神奈川
		副部会長	浪岡 正行	岩手
		委員	井上 光子	千葉
		委員	井田 博史	東京
		委員	上遠野 久美	福島
		委員	玉木 進	東京
		委員	梶山 祥子	広島
		委員	守重 昌彦	東京
		委員	神保 綾	埼玉
		委員	尹 美帆	滋賀
		委員	烏山 司	福岡
		委員	内田 美伽	栃木
		トレーナー部会	部会長	川上 晃司
	副部会長		當瀬 純一	宮崎
	委員		東 知宏	北海道
	委員		工藤 梨乃	兵庫
	委員		深間内 誠	三重
	委員		高川 亜紀	広島
	委員		中野 道治	大阪
	委員		兼平 智孝	宮城
	委員		土井内 友巳奈	京都
	委員		田中 京介	熊本
	委員		永野 康治	東京
	委員		市山 裕梨	大阪
	委員		溝口 英二	大阪
	委員		北村 壘	北海道
	委員		来住野 麻美	東京
	委員		平良 明日香	京都
	委員		佐藤 美穂	山口
	委員		木村 透	福井
	委員		千葉 秀也	宮城
	スポーツ科学部会		部会長	井田 博史
		副部会長	井上 光子	千葉
委員		緒方 貴浩	東京	
委員		永野 康治	東京	
委員		福原 和伸	神奈川	
委員		村山 孝之	石川	
委員		篠原 秀典	東京	
委員		川上 晃司	兵庫	
委員		高橋 和孝	神奈川	
委員		小倉 彩音	東京	
委員		黒田 奈穂子	岡山	
ICTシステム委員会		委員長	天野 晴夫	三重
	副委員長	森田 賢二	兵庫	

	委員	大前 秀樹	広島
	委員	木所 一典	栃木
	委員	内田 裕行	東京
	委員	石坂 欣也	東京
	委員	加藤 茂	岐阜
環境・教育委員会	委員長	和歌浦 京子	新潟
	副委員長	額賀 富雄	茨城
	委員	松田 孝志	宮城
	委員	岡村 勝幸	山梨
	委員	新保 俊彦	青森
用具・用品・施設委員会	委員長	山下 晴海	埼玉
	副委員長	安藤 正美	香川
	委員	額賀 富雄	茨城
	委員	鈴木 敏雄	神奈川
	委員	堀越 浩	千葉
指導基本規程違反救済審査委員会	委員長	森田 賢二	兵庫
	副委員長	石川 雅利	千葉
	委員	野際 照章	京都
	委員	霊池 恵量	愛知
	委員	石井 友梨	京都
倫理・コンプライアンス 委員会	委員長	大前 秀樹	広島
	副委員長	清水 論	茨城
	委員	運上 琢論	北海道
	委員	佐藤 栄一	群馬
	委員	櫻井 資悦	千葉
	委員	中元 正人	熊本
危機管理委員会	委員長	大前 秀樹	広島
	副委員長	篠邊 保	愛知
	委員	北本 英幸	石川
	委員	佐藤 栄一	群馬
	委員	堀越 浩	千葉
	委員	小野間 幸一	福島
	委員	重平 静洋	岡山
	委員	中元 正人	熊本
アスリート委員会	委員長	高井 志保	大阪
	副委員長	浅川 陽介	東京
	委員	井田 博史	東京
	委員	畑 瑠璃華	東京
	委員	船水 颯人	東京
	委員	石井 友梨	京都
競技者資格委員会	委員長	當瀬 純一	宮崎
	副委員長	安藤 正美	香川
	委員	山下 晴海	埼玉
	委員	柏倉 達雄	山形

マーケティングプランニング委員会	委員	永井 茂樹	石川
	委員	小脇 静香	千葉
	委員長	加藤 石根	東京
	副委員長	加藤 育広	秋田
	委員	高井 志保	大阪
	委員	脇田 愛	神奈川
	委員	田中 和雄	広島
	委員	皆呂 充亮	東京
	委員	田中 剛	東京
	委員	篠原 秀典	東京
	委員	星 祥子	東京
	委員	山岸 慎司	東京
定款・規程改定検討委員会	委員長	運上 琢論	北海道
	副委員長	大地本 一到	島根
	委員	足立 真一	静岡
	委員	中元 正人	熊本
	委員	清水 論	茨城
スポーツ団体ガバナンスコード推進委員会	委員長	大地本 一到	島根
	副委員長	運上 琢論	北海道
	委員	安藤 正美	香川
	委員	大前 秀樹	広島
	委員	清水 論	茨城
	委員	中元 正人	熊本
運動部活動地域移行推進委員会	委員長	小峯 秋二	富山
	副委員長	加藤 育広	秋田
	委員	大房 裕司	東京
	委員	皆呂 充亮	東京
	委員	星 祥子	東京
	委員	石岡 重光	京都
	委員	上田 竜次	京都
	委員	香川 翔	香川
	委員	朴 相俊	長野
	委員	関口 昌和	広島

【事務局】 令和6年3月31日現在

事務局長 荒木 朋子

職員 大八木 洋子 清水 望 佐藤 成敏

常勤嘱託職員 渡部 誠之 星 佳代子 樋口 一生

【運営本部および専門委員会・部会】② 令和6年8月～令和8年定時評議員会終結時まで

名称	職	氏名	所属
運営本部	会長	安道 光二	京都
	本部長	清水 諭	茨城
	副本部長	大島 洋子	東京
	副本部長	佐藤 健司	東京
	委員	運上 琢諭	北海道
	委員	加藤 育広	秋田
	委員	蛭田 香名子	神奈川
	委員	加藤 石根	東京
	委員	神崎 公宏	三重
	委員	安藤 正美	香川
	委員	井田 博史	東京
	委員	高井 志保	大阪
	委員	笠原 亜希子	石川
	委員	堀越 浩	千葉
	委員	増木 博一	京都
	委員	森田 賢二	兵庫
総務委員会	委員長	森田 賢二	兵庫
	副委員長	大地本 一到	島根
	委員	笠原 亜希子	石川
	委員	鈴木 美妃	愛知
	委員	大前 秀樹	広島
	委員	横田 南	埼玉
財務委員会	委員長	加藤 石根	東京
	副委員長	増木 博一	京都
	委員	小川 信也	岐阜
	委員	多田 光廣	香川
会員登録委員会	委員長	高野 健二	茨城
	副委員長	菊間 路人	東京
デジタル委員会	委員長	加藤 石根	東京
	副委員長	森田 賢二	兵庫
	副委員長	天野 晴夫	三重
	委員	木所 一典	栃木
	委員	加藤 茂	岐阜
	委員	石坂 欣也	東京
倫理・コンプライアンス委員会	委員長	大前 秀樹	広島
	副委員長	清水 諭	茨城
	副委員長	大島 洋子	東京
	委員	佐藤 健司	東京
	委員	稲葉 大輔	東京
競技委員会	委員長	堀越 浩	千葉
	副委員長	岩下 敏和	熊本
	アドバイザー	安藤 正美	香川
	委員	原口 増美	福岡
	委員	吉田 茂	福島
	委員	大津 竜二	愛知

		委員	小野 道康	新潟
		委員	成田 扶美代	大阪
		委員	吉田 敏彦	岡山
		委員	天野 裕	愛媛
	等級制度部会	部会長	岡村 勝幸	山梨
		副部会長	増木 博一	京都
		委員	川添 圭子	山口
		委員	當瀬 純一	宮崎
		委員	荒井 隆	香川
	プログラム編成部会	部会長	木所 一典	栃木
		副部会長	額賀 富雄	茨城
		アドバイザー	長岡 敏久	埼玉
		委員	横田 南	埼玉
		委員	谷岡 美貴	東京
		委員	中野 吉広	東京
		委員	山口 眞護	東京
		委員	天野 晴夫	三重
		委員	石坂 欣也	東京
		委員	織原 真由美	東京
		委員	川口 さつき	東京
		委員	成島 厚子	東京
		委員	三ツ木 和子	東京
		委員	沼尻 順子	東京
		委員	上村 和永	埼玉
	用具・用品・施設部会	部会長	額賀 富雄	茨城
		副部会長	横田 南	埼玉
		委員	石坂 欣也	東京
		委員	木所 一典	栃木
		委員	浅川 陽介	東京
審判委員会		委員長	増木 博一	京都
		副委員長	越智 朗	愛媛
		副委員長	佐藤 鉄太郎	宮城
		委員	片岡 勝	青森
		委員	川島 裕和	石川
		委員	木下 道夫	東京
		委員	阿部 一臣	東京
		委員	牧 壮一	愛知
		委員	蒲原 英敏	広島
		委員	佐藤 敬治	岡山
		委員	小田 宗雄	熊本
		委員	川東 耕次	鹿児島
強化委員会		委員長	高井 志保	大阪
		副委員長	小野寺 剛	東京
		アドバイザー	神崎 公宏	三重
		委員	斉藤 広宣	千葉
		委員	佐藤 英宣	愛知
		委員	川上 晃司	兵庫
		委員	篠原 秀典	東京

	強化スタッフ部会	部会長	斉藤 広宣	千葉
		副部会長	高井 志保	大阪
		委員	佐藤 英宣	愛知
		委員	篠原 秀典	東京
		委員	堀 晃大	広島
		委員	伊加 英隆	香川
		委員	紙森 隆弘	奈良
		委員	高橋 茂	東京
		委員	合田 清志	京都
		委員	松崎 法夫	福島
		委員	増田 健人	和歌山
		委員	三浦 洋美	群馬
		委員	菅野 創生	埼玉
アスリート委員会		委員長	堀越 浩	千葉
		副委員長	篠原 秀典	東京
		委員	蛭田 香名子	神奈川
		委員	上岡 俊介	京都
		委員	久保 晴華	東京
競技者育成プログラム委員会		委員長	篠邊 保	愛知
		副委員長	原口 増美	福岡
		副委員長	井上 創	兵庫
		委員	林 三千夫	和歌山
		委員	松浦 誠	宮崎
		委員	高野 健二	茨城
		委員	菊間 路人	東京
		委員	小野寺 剛	東京
		委員	松口 友也	神奈川
		委員	塩寄 弘騎	和歌山
		委員	千葉 英明	宮城
		委員	岡村 勝幸	山梨
		委員	天野 晴夫	三重
		委員	久保 雅秀	和歌山
		委員	津吉 優樹	愛媛
		委員	寺坂 鋭子	岡山
		委員	岩下 敏和	熊本
指導者育成委員会		委員長	大前 秀樹	広島
		副委員長	篠邊 保	愛知
		委員	井田 博史	東京
		委員	當瀬 純一	宮崎
		委員	橋本 康德	京都
医科学委員会		委員長	井田 博史	東京
		副委員長	笠原 亜希子	石川
		委員	守重 昌彦	東京
		委員	梶山 祥子	広島
		委員	川上 晃司	兵庫
		委員	村山 孝之	石川
		委員	永野 康治	東京

	医学部会	部会長	守重 昌彦	東京
		副部会長	笠原 亜希子	石川
		委員	出家 正隆	愛知
		委員	神田 光一郎	埼玉
		委員	梶山 祥子	広島
		委員	山田 隆	東京
		委員	目加田 優子	東京
		委員	今井 愛	神奈川
		委員	藤本 陽	静岡
		委員	國友 耕太郎	熊本
		委員	植田 由依	千葉
		委員	小久保 友貴	愛知
		委員	江夏 元揚	東京
		委員	林 拓海	埼玉
	アンチ・ドーピング部会	部会長	梶山 祥子	広島
		副部会長	井田 博史	東京
		委員	上遠野 久美	福島
		委員	玉木 進	東京
		委員	神保 綾	埼玉
		委員	尹 美帆	滋賀
		委員	烏山 司	福岡
		委員	高橋 和孝	神奈川
		委員	箱崎 美伽	栃木
		委員	神戸 博幸	埼玉
	トレーナー部会	部会長	永野 康治	東京
		副部会長	川上 晃司	兵庫
		委員	東 知宏	北海道
		委員	工藤 梨乃	兵庫
		委員	深間内 誠	三重
		委員	高川 亜紀	広島
		委員	中野 道治	大阪
		委員	兼平 智孝	宮城
		委員	土井内 友巳奈	京都
		委員	田中 教裕	熊本
		委員	市山 裕梨	大阪
		委員	溝口 英二	大阪
		委員	北村 壘	北海道
		委員	来住野 麻美	東京
		委員	平良 明日香	京都
		委員	佐藤 美穂	千葉
		委員	木村 透	福井
		委員	千葉 秀也	宮城
		委員	村田 南	茨城
		委員	岡崎 美琴	北海道
	スポーツ科学部会	部会長	村山 孝之	石川
		副部会長	篠原 秀典	東京
		委員	井田 博史	東京
		委員	緒方 貴浩	東京

		委員	永野 康治	東京
		委員	福原 和伸	神奈川
		委員	朴 相俊	長野
		委員	川上 晃司	兵庫
		委員	高橋 和孝	神奈川
		委員	黒田 奈穂子	岡山
		委員	小倉 彩音	栃木
		委員	渡邊 晶子	北海道
生涯スポーツ委員会		委員長	額賀 富雄	茨城
		副委員長	長岡 敏久	埼玉
		委員	山本 悦子	愛知
		委員	廣島 義清	北海道
	環境・教育部会	部会長	谷岡 美貴	東京
		副部会長	川添 圭子	山口
		委員	小野間 幸一	福島
		委員	岡村 勝幸	山梨
マーケティングプランニング委員会		委員長	蛭田 香名子	神奈川
		副委員長	加藤 育広	秋田
		委員	森田 賢二	兵庫
		委員	鈴木 美妃	愛知
		委員	田中 剛	東京
広報委員会		委員長	蛭田 香名子	神奈川
		副委員長	大島 洋子	東京
		アドバイザー	山下 晴海	埼玉
		委員	田中 和雄	広島
		委員	工藤 聡子	青森
		委員	上野 渉	石川
		委員	斎藤 啓祐	愛知
		委員	清水 直也	広島
		委員	手嶋 良介	佐賀
		委員	竹島 哲	埼玉
		機関誌部会	部会長	木所 一典
	副部会長		額賀 富雄	茨城
	委員		近藤 貴予	東京
	委員		佐々木 淳	東京
	委員		谷岡 美貴	茨城
	委員	横田 南	埼玉	
2026 アジア競技大会準備委員会		委員長	篠邊 保	愛知
		副委員長	鈴木 美妃	愛知
		委員	玉木 進	東京
		委員	佐藤 健司	東京
		委員	越智 朗	愛媛
		委員	蒲原 英敏	広島
		委員	橋本 茂樹	東京
		委員	星 祥子	東京
創立100周年記念事業準備委員会		委員長	佐藤 健司	東京
		副委員長	加藤 育広	秋田

スポーツ団体ガバナンスコード推進委員会	委員長	大地本 一到	島根
	副委員長	山本 悦子	愛知
国際委員会	委員長	笠原 亜希子	石川
	副委員長	神戸 博幸	埼玉
	委員	鈴木 美妃	愛知
	委員	玉木 進	東京
	委員	中本 裕二	広島
	委員	橋本 茂樹	東京
	委員	山岸 慎司	東京
	委員	関川 丈彦	新潟
	委員	井田 博史	東京
	委員	小林 拓磨	愛媛
	委員	角田 光央	東京
	委員	朴 相俊	長野
	委員	田中 俊充	和歌山
指導基本規程違反救済審査委員会	委員長	森田 賢二	兵庫
	副委員長	石川 雅利	千葉
	委員	野際 照章	京都
	委員	霊池 恵量	愛知
	委員	石井 友梨	京都

アーカイブ委員会	委員長	清水 諭	茨城
	委員	井田 博史	東京
	委員	田中 俊充	和歌山
全日本選手権大会実行委員会	委員長	蛭田 香名子	神奈川
	委員	清水 諭	茨城
	委員	佐藤 健司	東京
	委員	加藤 育広	秋田
	委員	加藤 石根	東京
	委員	堀越 浩	千葉
	委員	内田 裕行	東京

【事務局】 令和7年3月31日現在

事務局長 荒木 朋子

職 員 大八木 洋子 清水 望 佐藤 成敏 星 佳代子

樋口 一生 老沼 文子

常勤嘱託職員 渡部 誠之